

実態調査結果

① 高齢者をケアしている方

令和3年9月

北海道保健福祉部

【調査目的】

支援を必要としているケアラーの早期発見や適切な支援につなげるための方策を検討するため、ケアラー本人が抱える悩みのほか、関係機関における取組状況などを把握することを目的に実施。

【主な調査項目】

- ・ケアラー自身について（性別、年齢、就労状況）
- ・お世話を必要としている人の状況（ケアラーとの関係、ケアが必要な理由）
- ・ケアの状況（期間、内容、悩み） ・サービスの利用状況 ・ケアラーの生活状況（健康状態、生活への影響）
- ・ケアラーの家族の状況（ケアをしている人数、ケアの分担）

【調査対象】

道内に居住する高齢者の家族の介護等を行うケアラー

〔 地域包括支援センター 1カ所につき、要介護認定を受けているサービス未利用者 1名とサービス利用者 4名
を目安に、対象者を抽出 〕

【調査対象数】

1, 390件

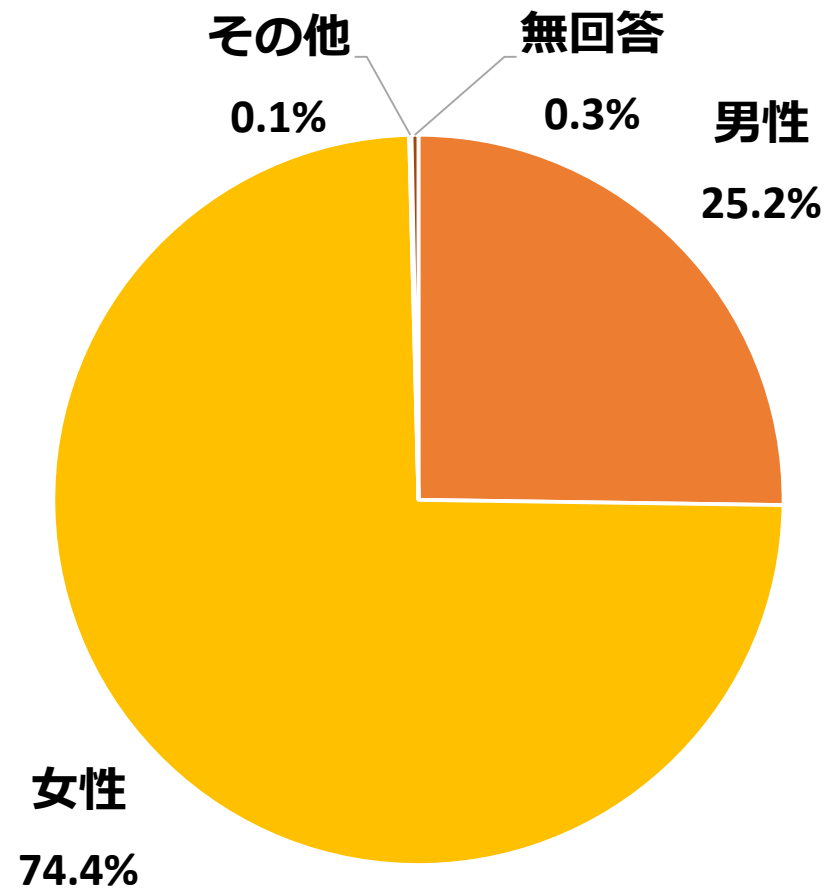
【回答件数】

987件（回収率71.0%）

1 ケアラー本人の属性

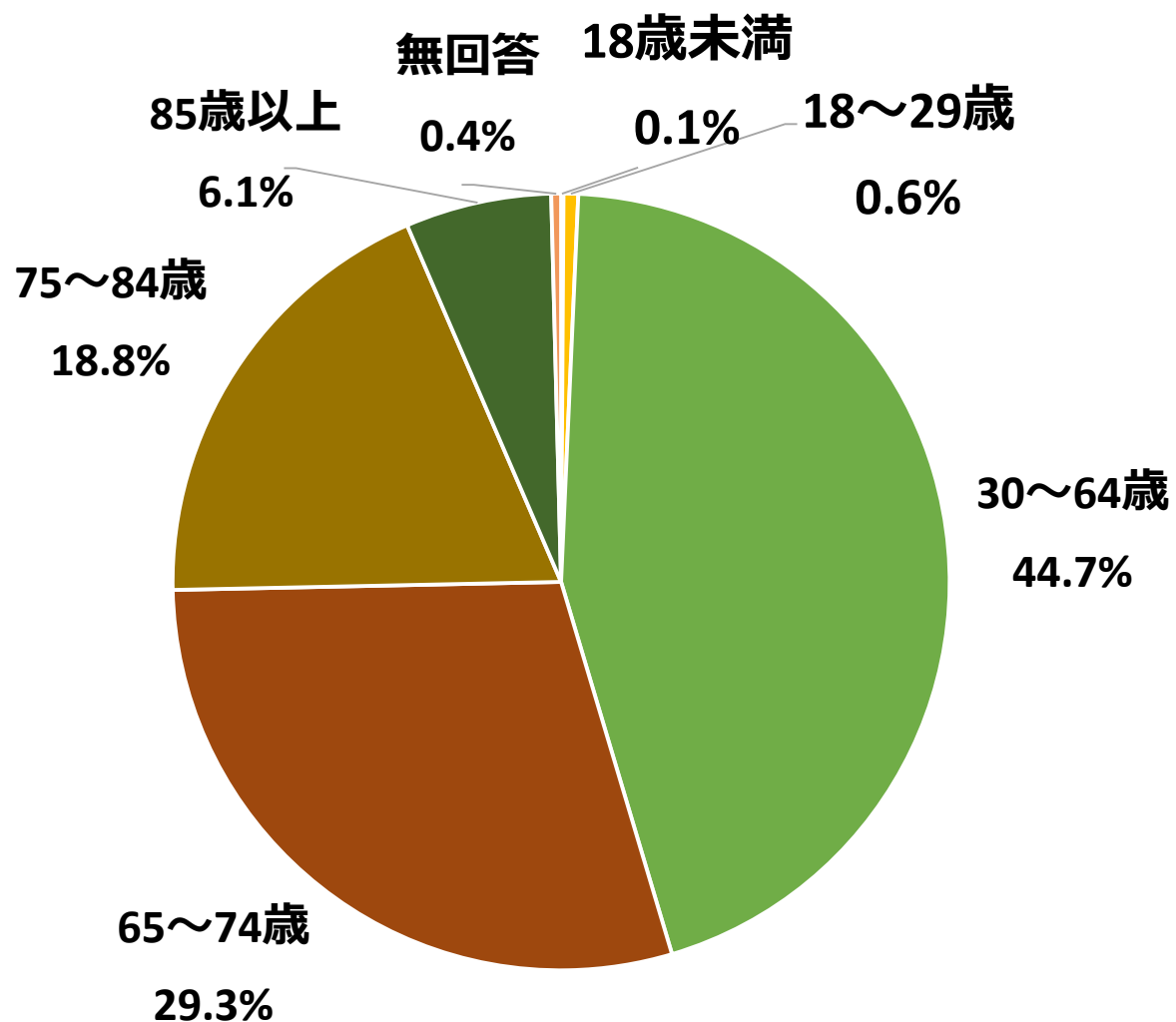
(1) ケアラーの性別

・ケアラー本人（N=987）の性別をみると、「女性」が74.4%、「男性」が25.2%であった。



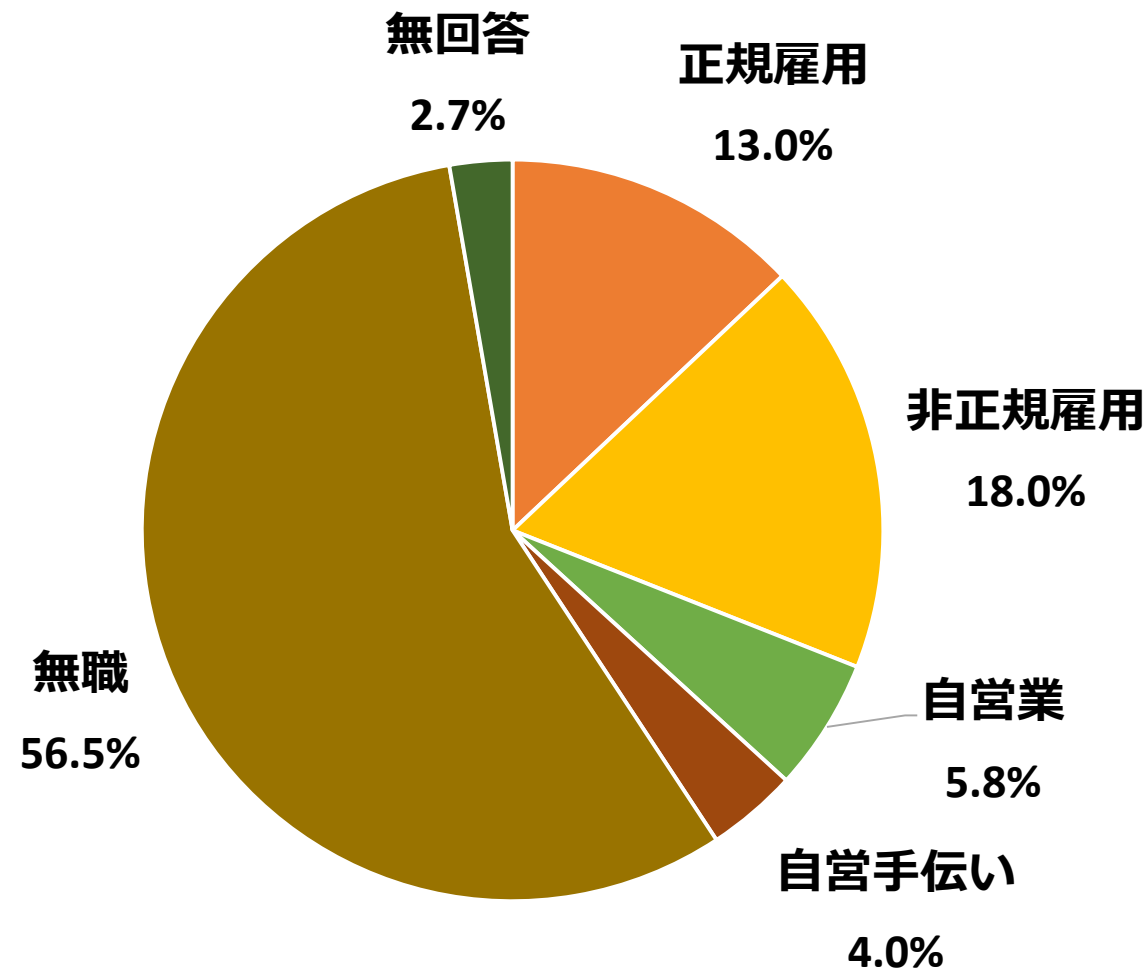
(2) ケアラーの年齢

・ケアラー本人（N=987）の年齢をみると、65歳以上の高齢者の割合が合わせて54.2%であった。



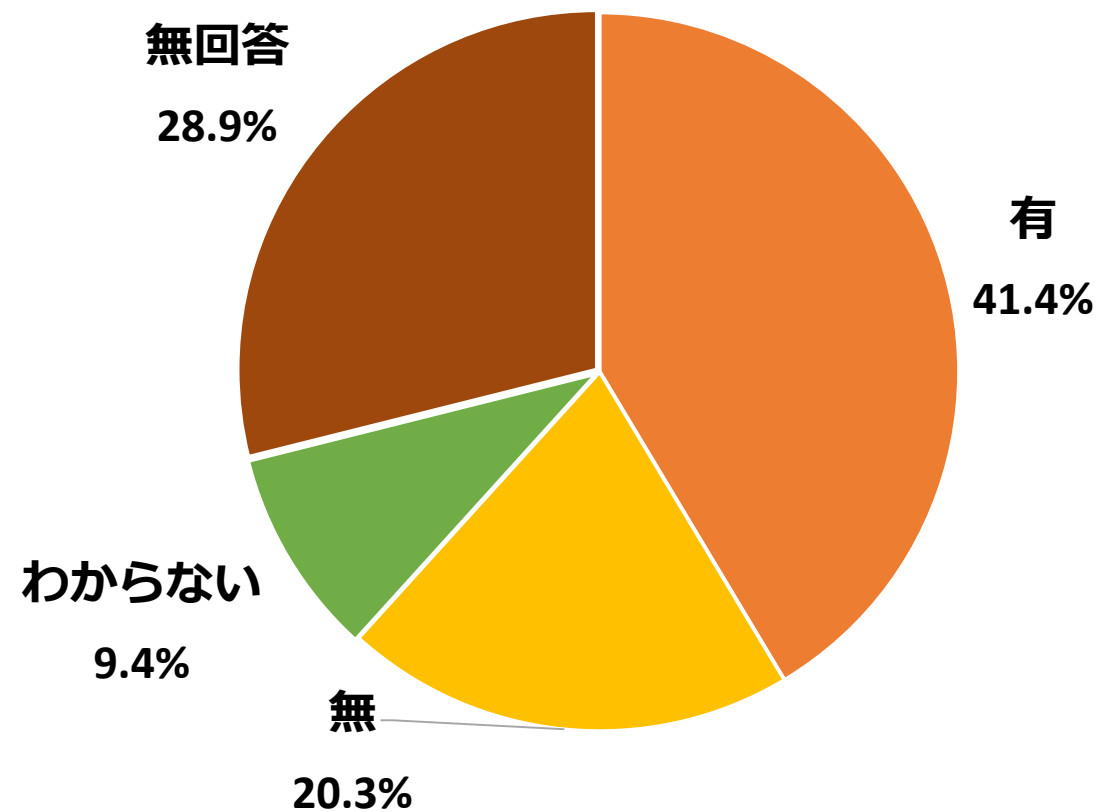
(3-1) ケアラーの就労状況

・ケアラー本人（N=987）の就労状況をみると、「無職」が56.5%で最も高く、次いで「非正規雇用」が18.0%であった。



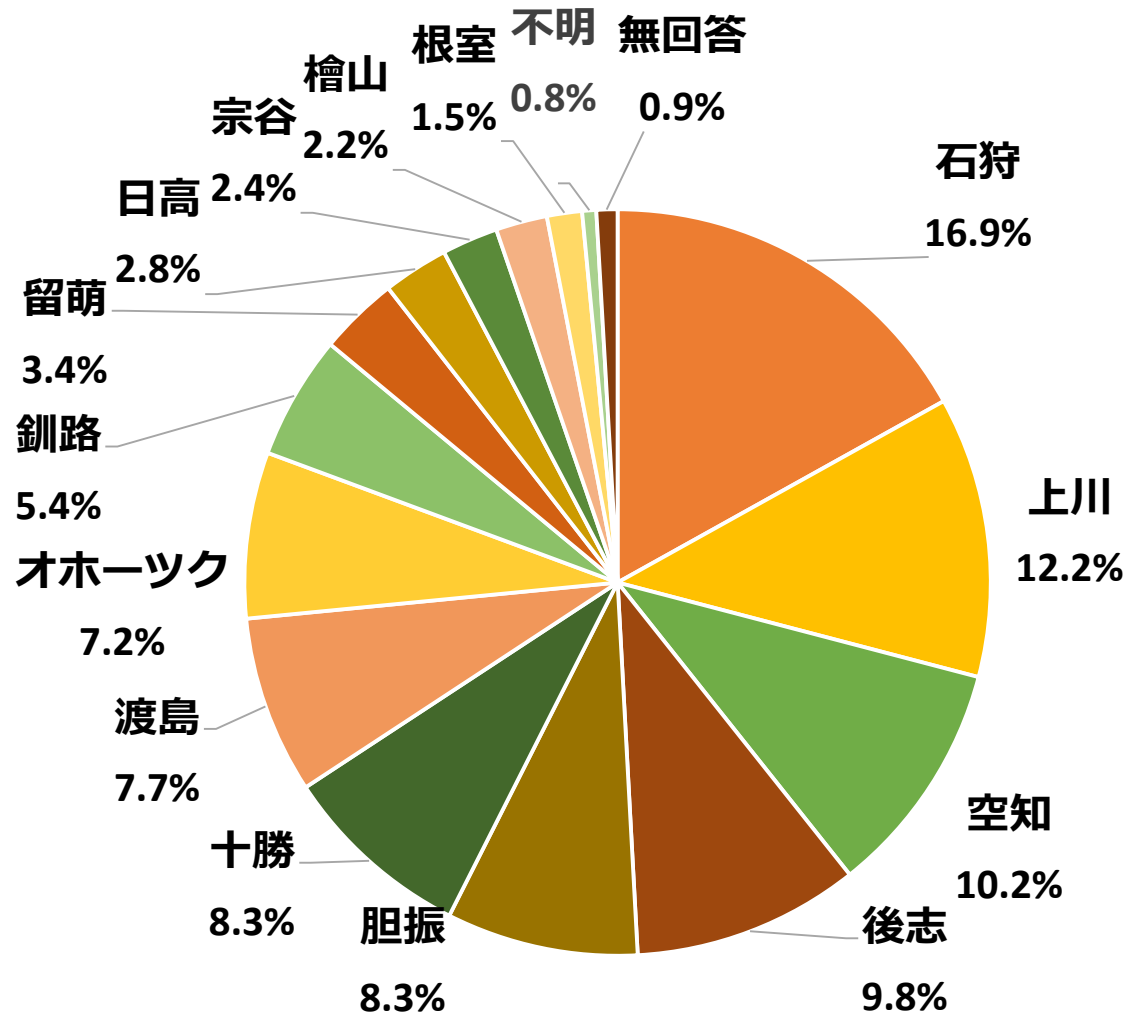
(3-2) 介護休暇制度の有無（正規雇用者に限る）

・ 正規雇用者（N=128）のうち、介護休暇制度が「有」は41.4%、「無」は20.3%であった。



(4) 住んでいる地域

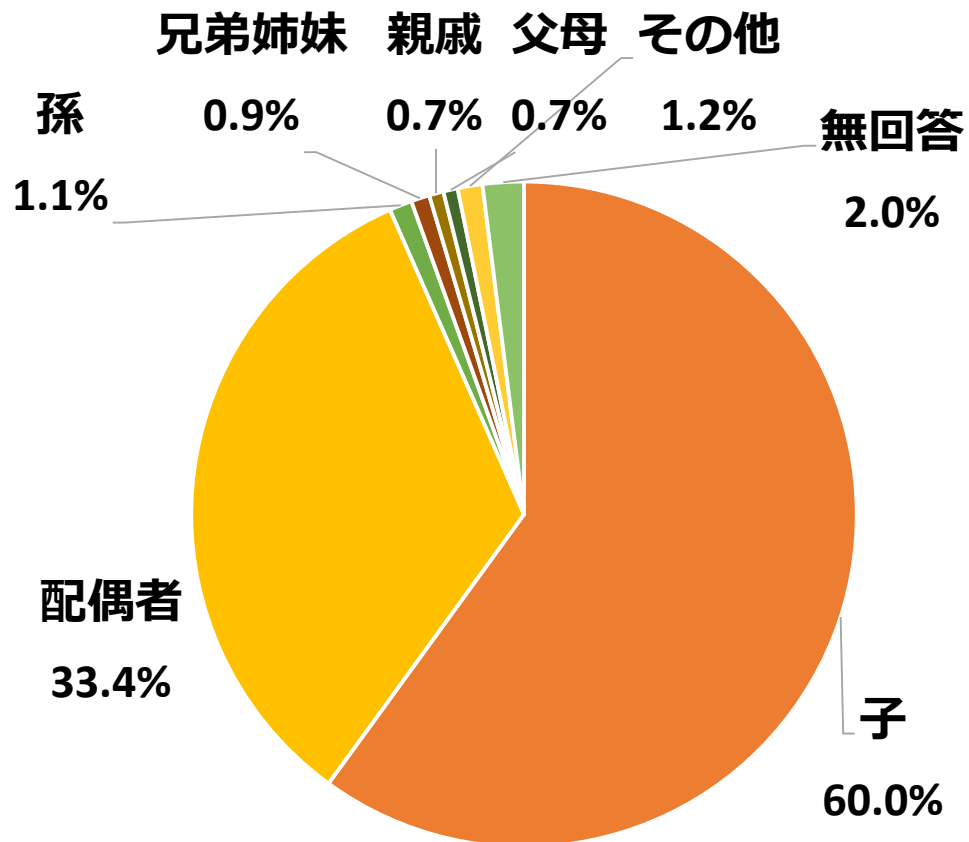
- ・回答者（N=987）の居住する振興局は、「石狩」が16.9%で最も高く、次いで「上川」が12.2%であった。



2 お世話を必要としている人の状況

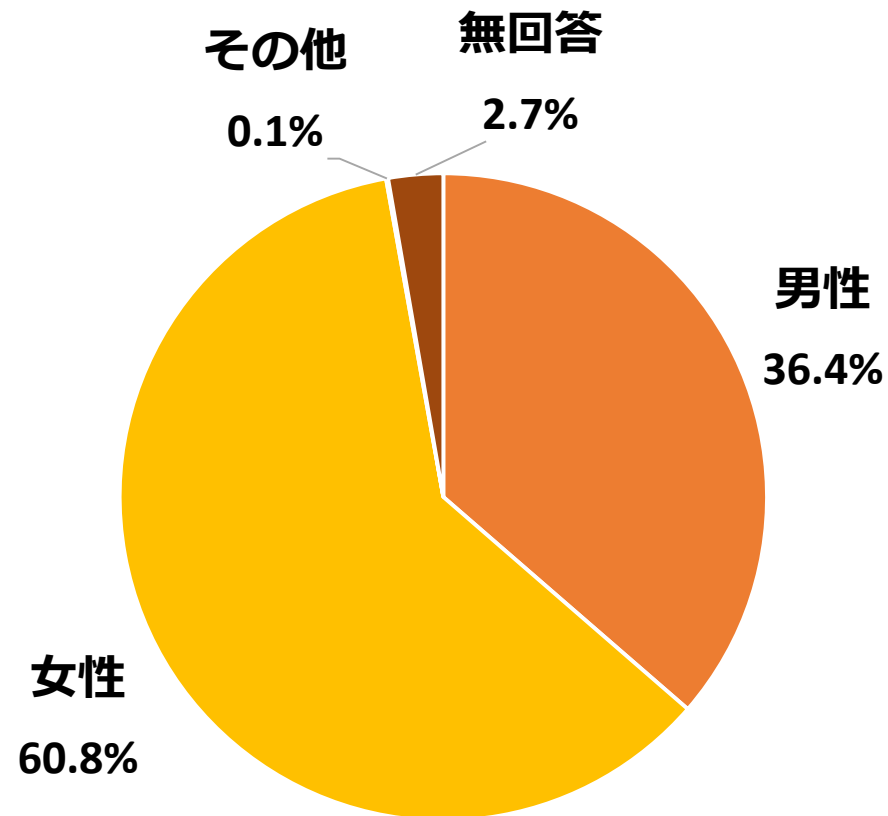
(5) お世話をしている人の状況

・お世話をしている人の状況（N=987）をみると、「子」が60.0%で最も高く、次いで「配偶者」が33.4%であった。



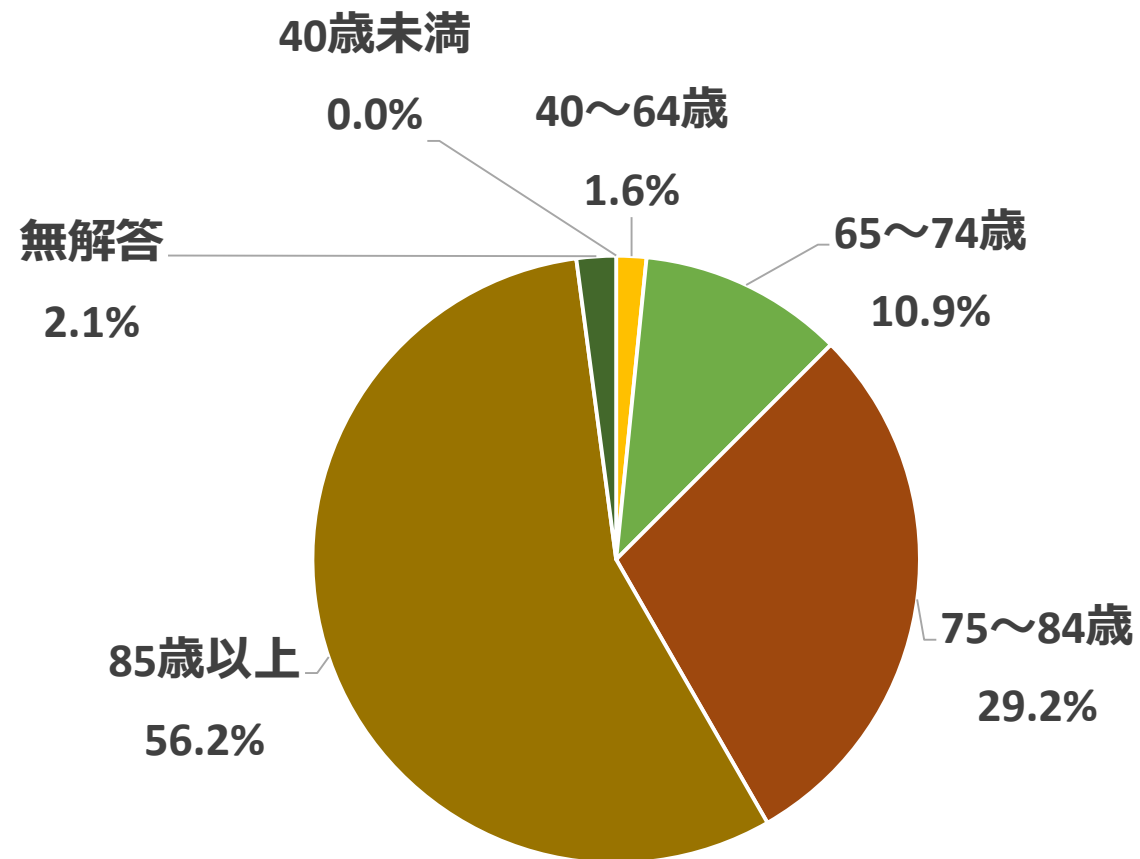
(6) お世話を必要としている人の性別

- ・お世話を必要としている人 (N=987) の性別をみると、「男性」が36.4%、「女性」が60.8%であった。



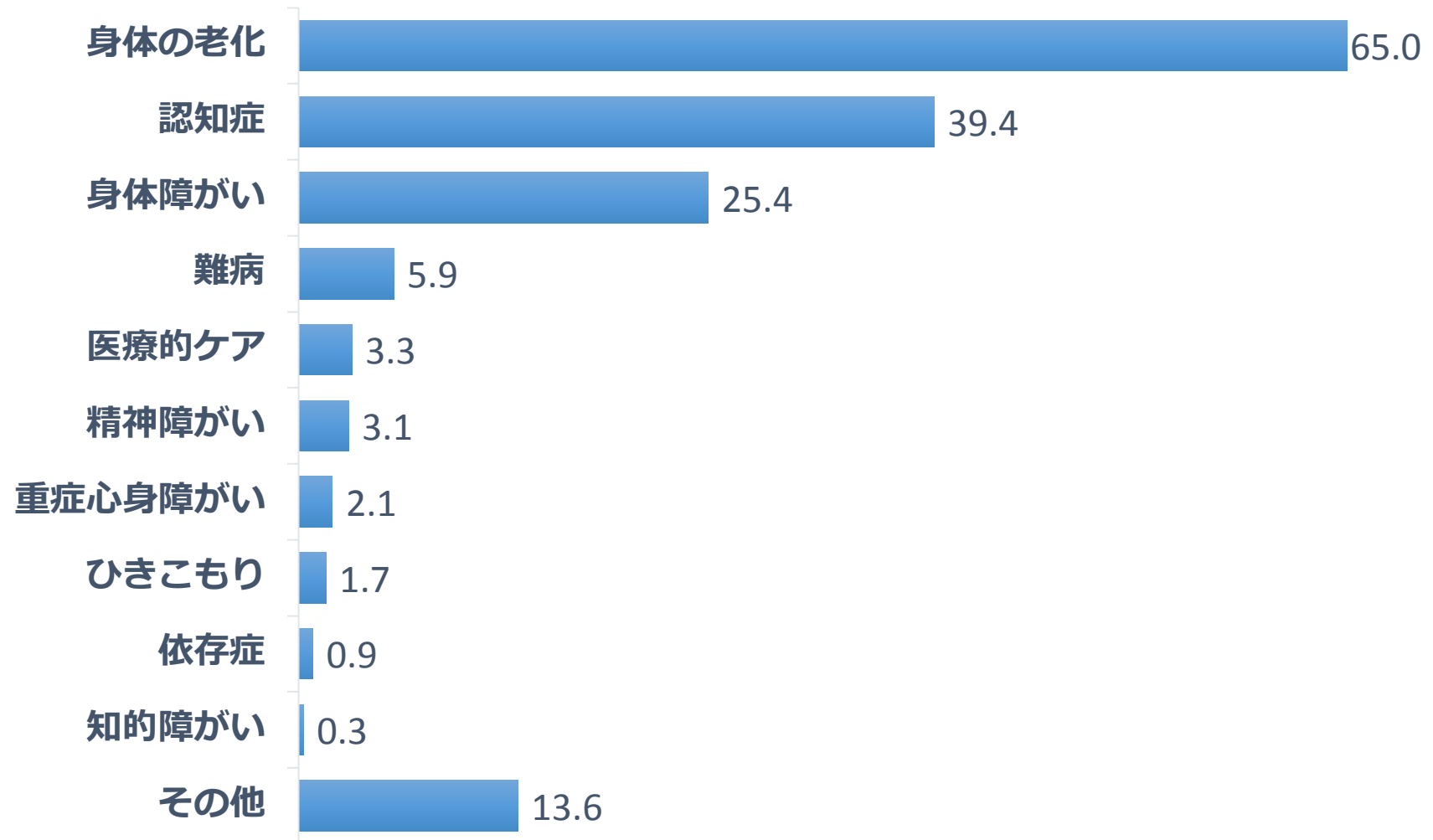
(7) お世話を必要としている人の年齢

・お世話を必要としている人 (N=987) の年齢をみると、「85歳以上」が56.2%と最も多く、次いで「75歳～84歳」が29.2%であった。



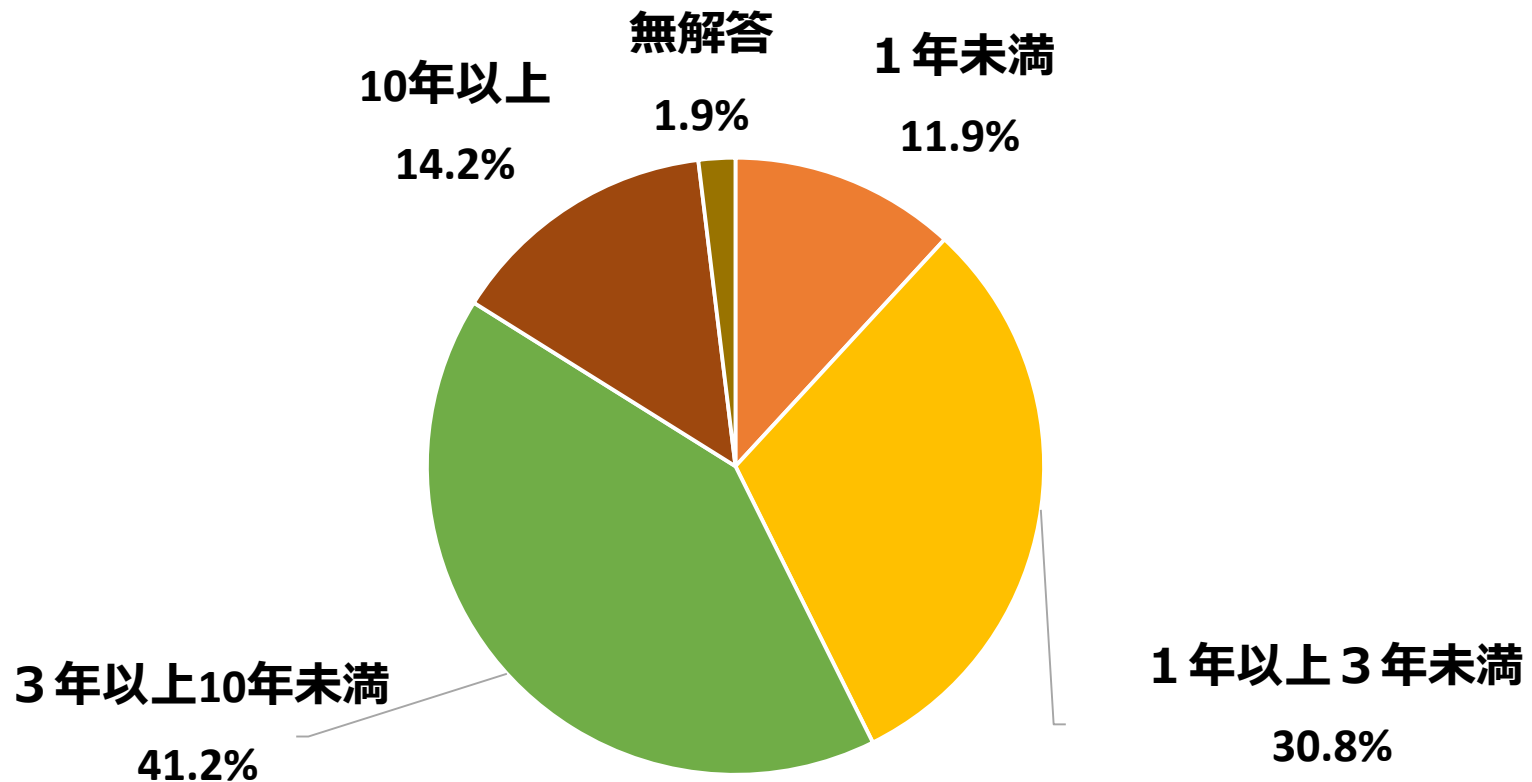
(8) ケアが必要な理由 (複数回答)

・ケアが必要な理由 (N=972) をみると、「身体の老化」が65.0%で最も高く、次いで「認知症」が39.4%であった。



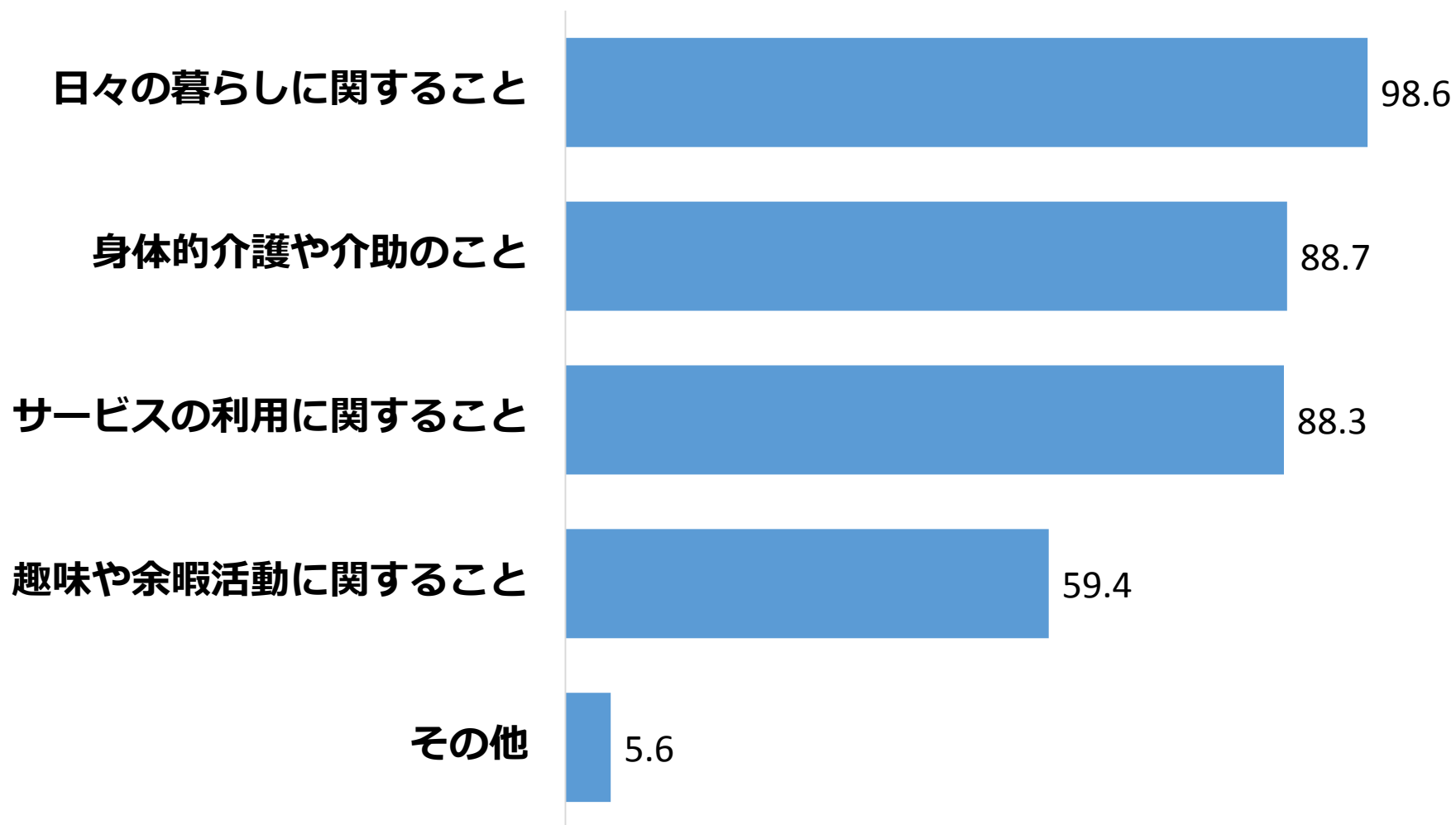
(9) ケアの期間

・ケアの期間 (N=987) をみると、「3年以上10年未満」が41.2%で最も高く、次いで「1年以上3年未満」が30.8%であった。



(10-1) ケアの内容【分類別：複数回答】

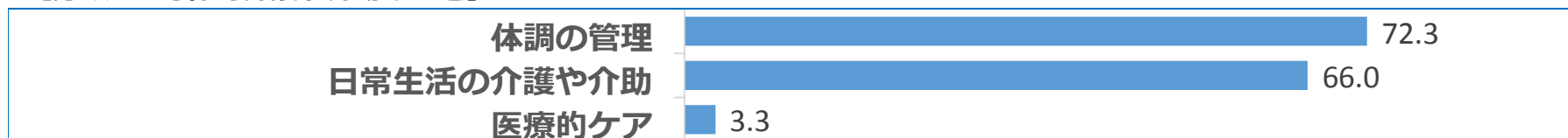
・ケアの内容（N=981）を分類別にみると、「日々の暮らしに関すること」が98.6%で最も高く、次いで「身体的介護や介助のこと」が88.7%であった。



(10-2) ケアの内容【選択肢別：複数回答】

・ケアの内容（N=981）を選択肢別にみると、「家事の援助」が86.5%で最も高く、次いで「通院の援助」が82.2%であった。

【分類A：身体的介護や介助のこと】



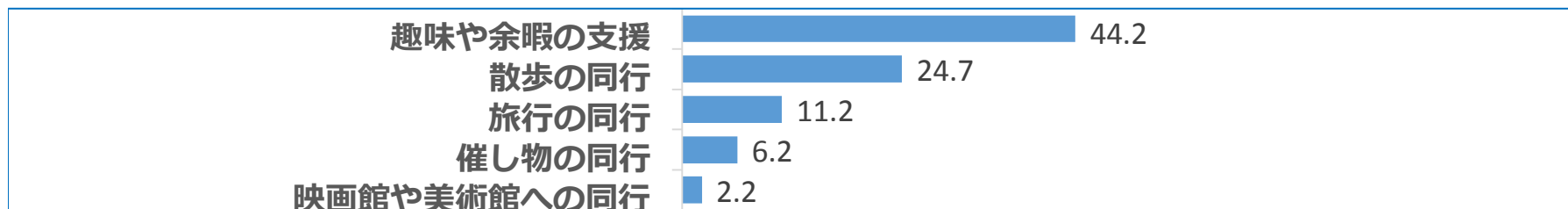
【分類B：日々の暮らしに関すること】



【分類C：サービスの利用に関すること】

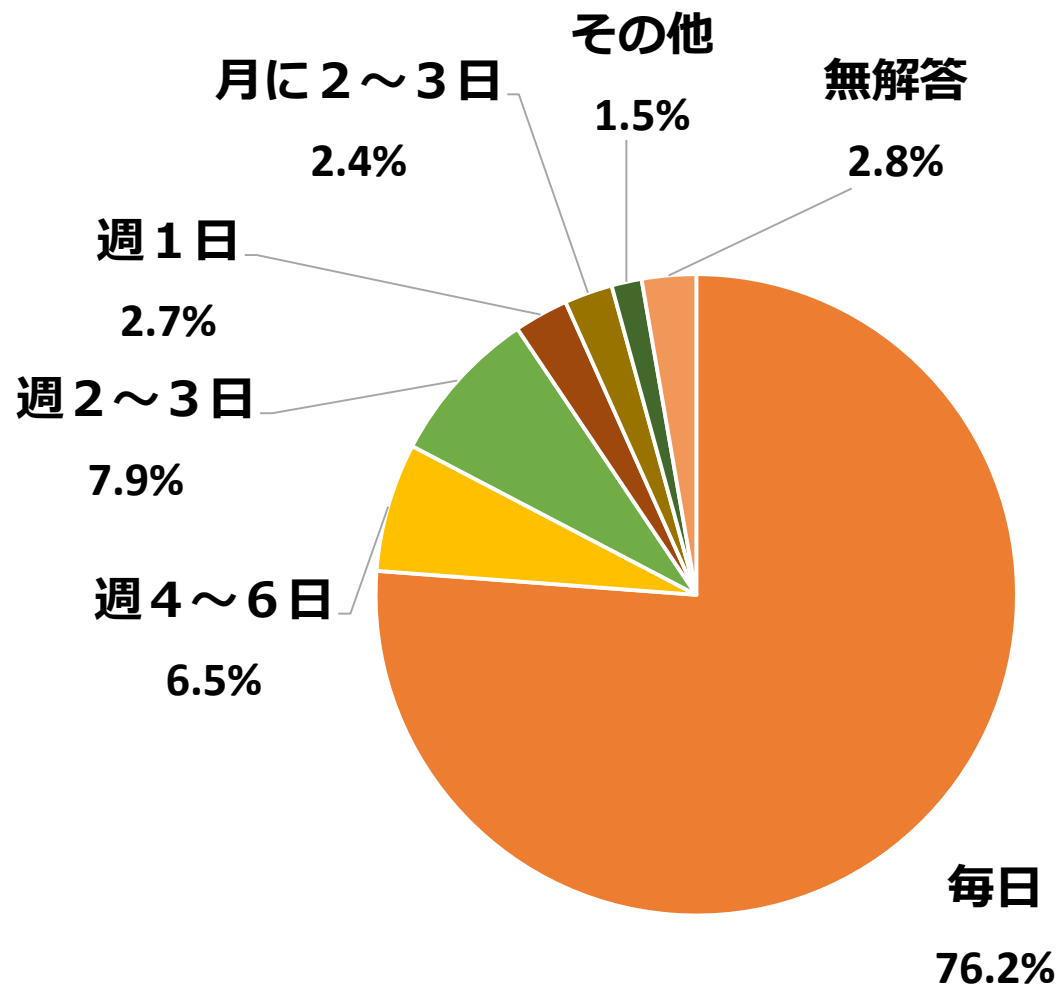


【分類D：趣味や余暇活動に関すること】



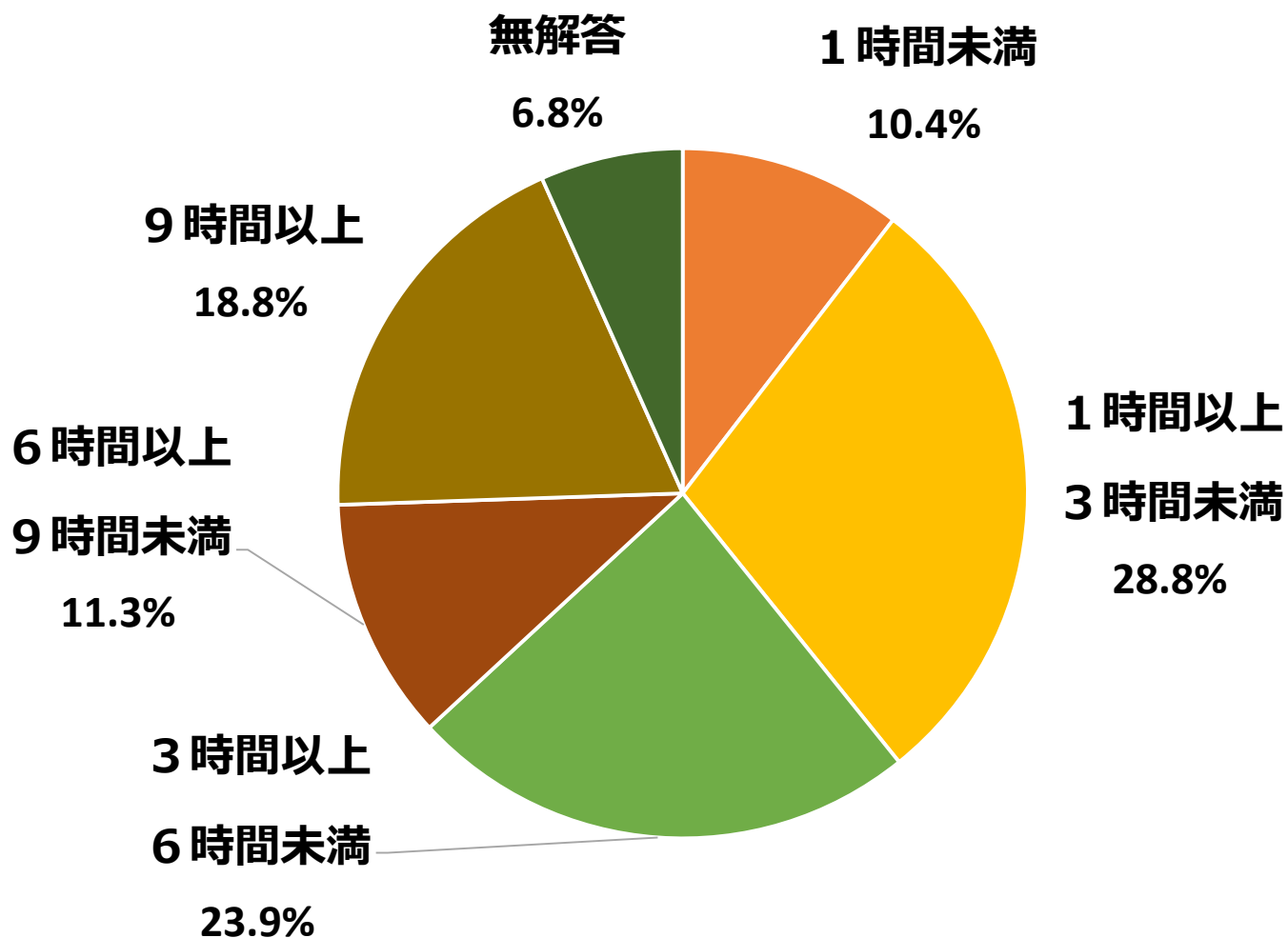
(11) ケアの頻度

・ケアの頻度（N=987）をみると、「毎日」が76.2%で最も高く、次いで「週2～3日」が7.9%であった。



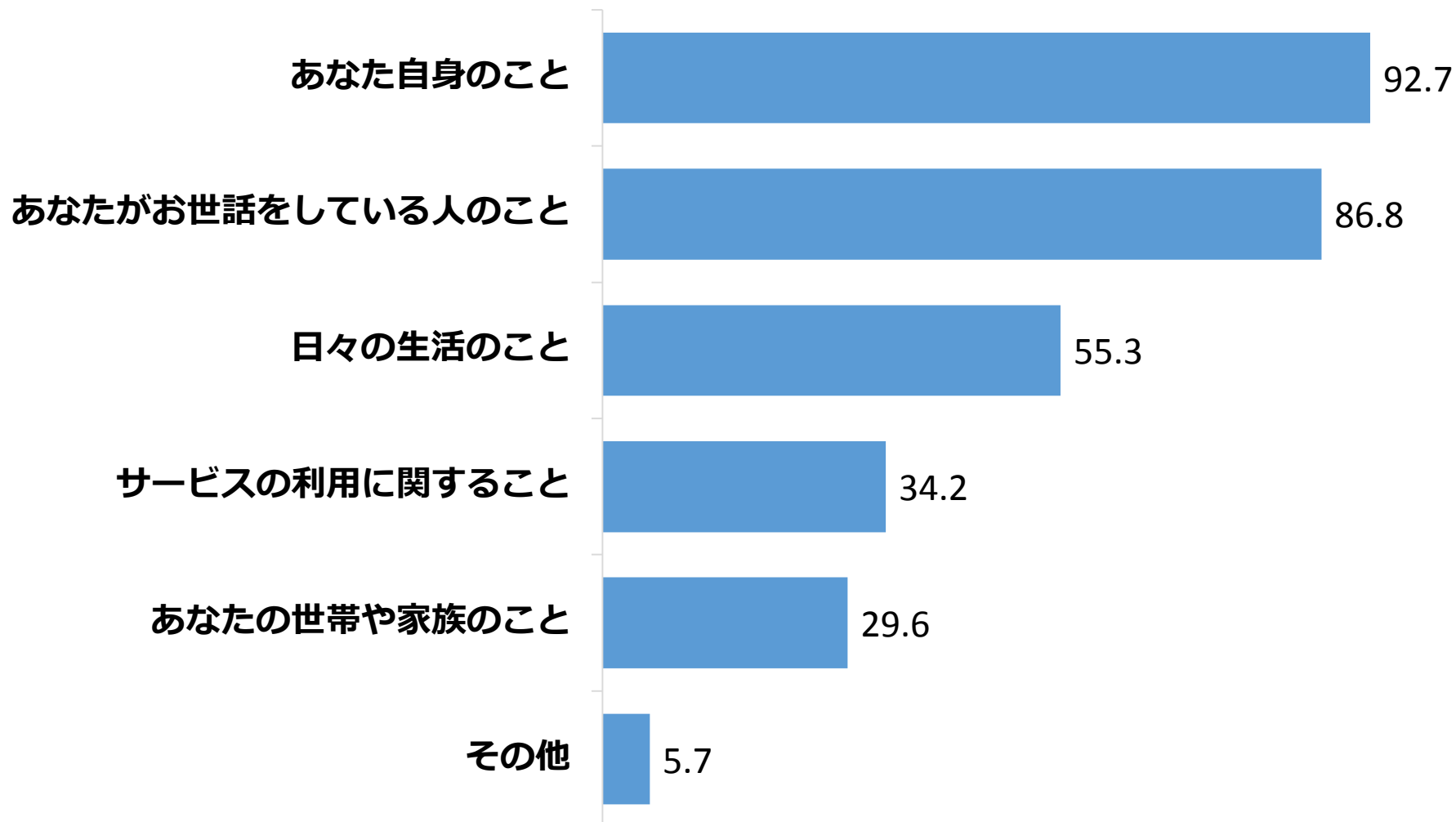
(12) 1日あたりのケアにかかる時間

・ 1日あたりのケアにかかる時間（N=987）をみると、「1時間以上3時間未満」が28.8%で最も高く、次いで「3時間以上6時間未満」が23.9%であった。



(13-1) ケアラー自身の悩み（分類別：複数回答）

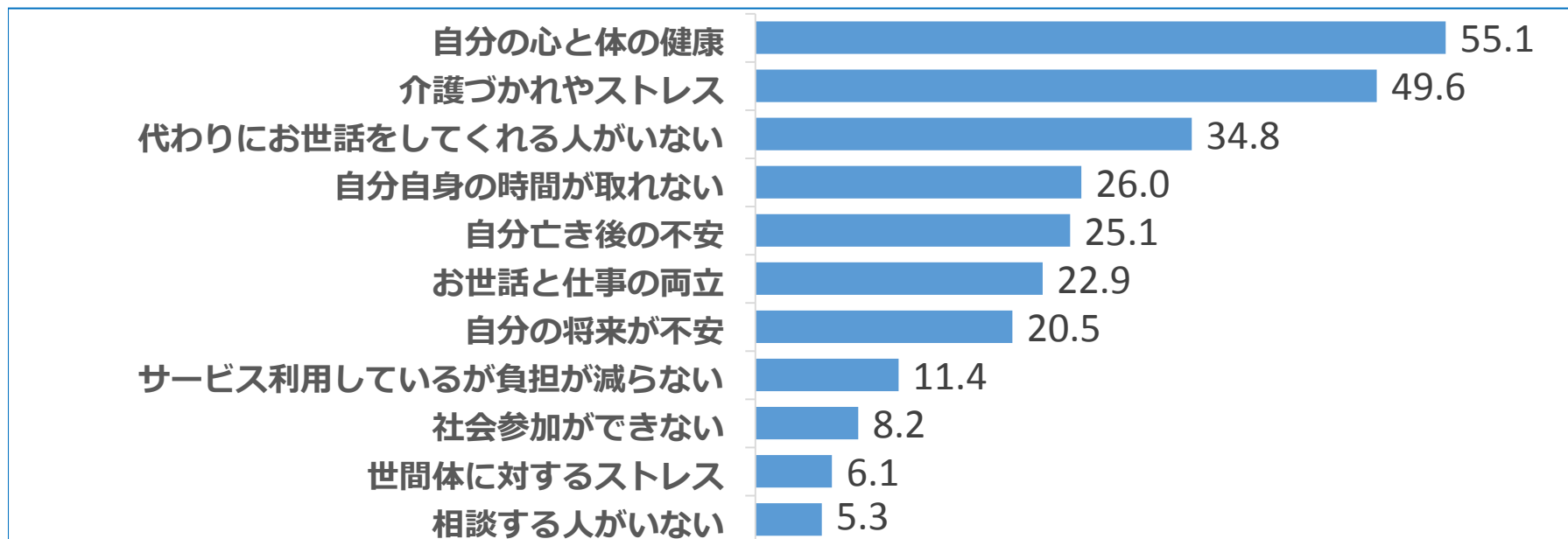
・悩み（N=931）を分類別にみると、「あなた自身のこと」が92.7%で最も高く、次いで「あなたがお世話をしている人」が86.8%であった。



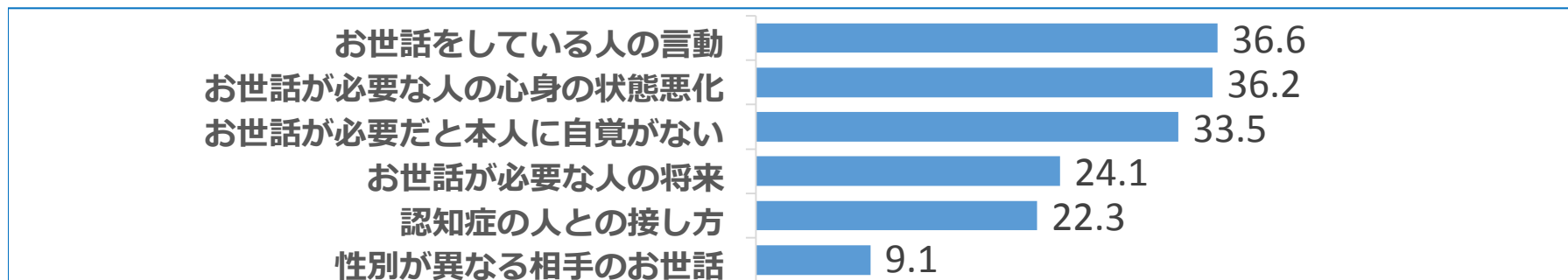
(13-2) ケアラー自身の悩み【選択肢別：複数回答】

・悩み（N=931）を選択肢別にみると、「自分の心と体の健康」が55.1%で最も高く、次いで「介護づかれやストレス」が49.6%であった。

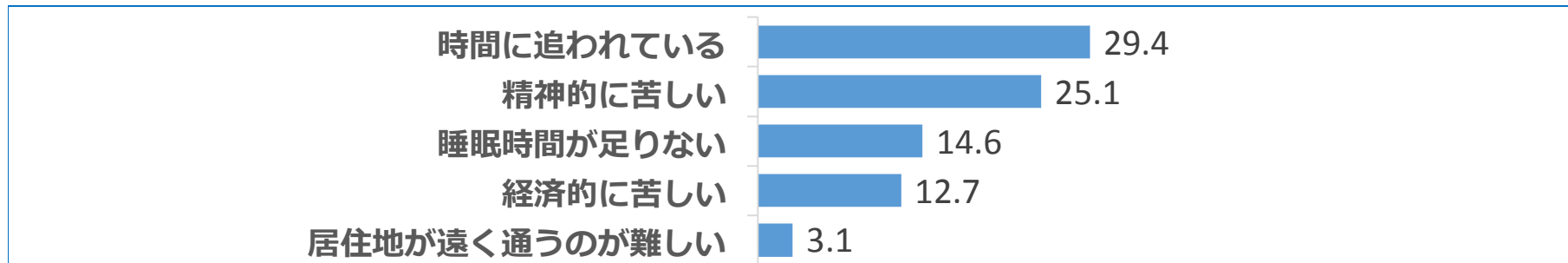
【あなた自身のこと】



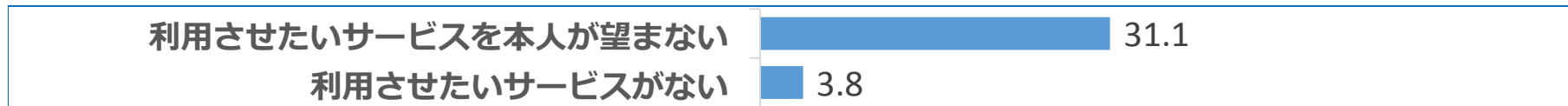
【あなたがお世話をしている人のこと】



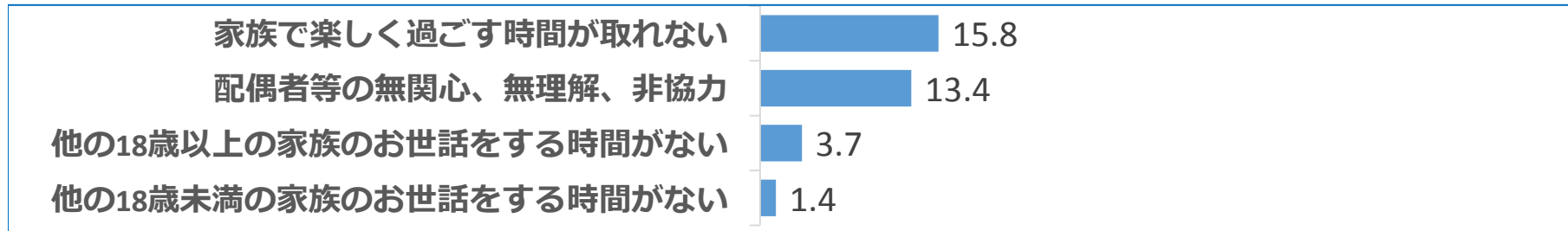
【日々の生活のこと】



【サービスの利用に関すること】

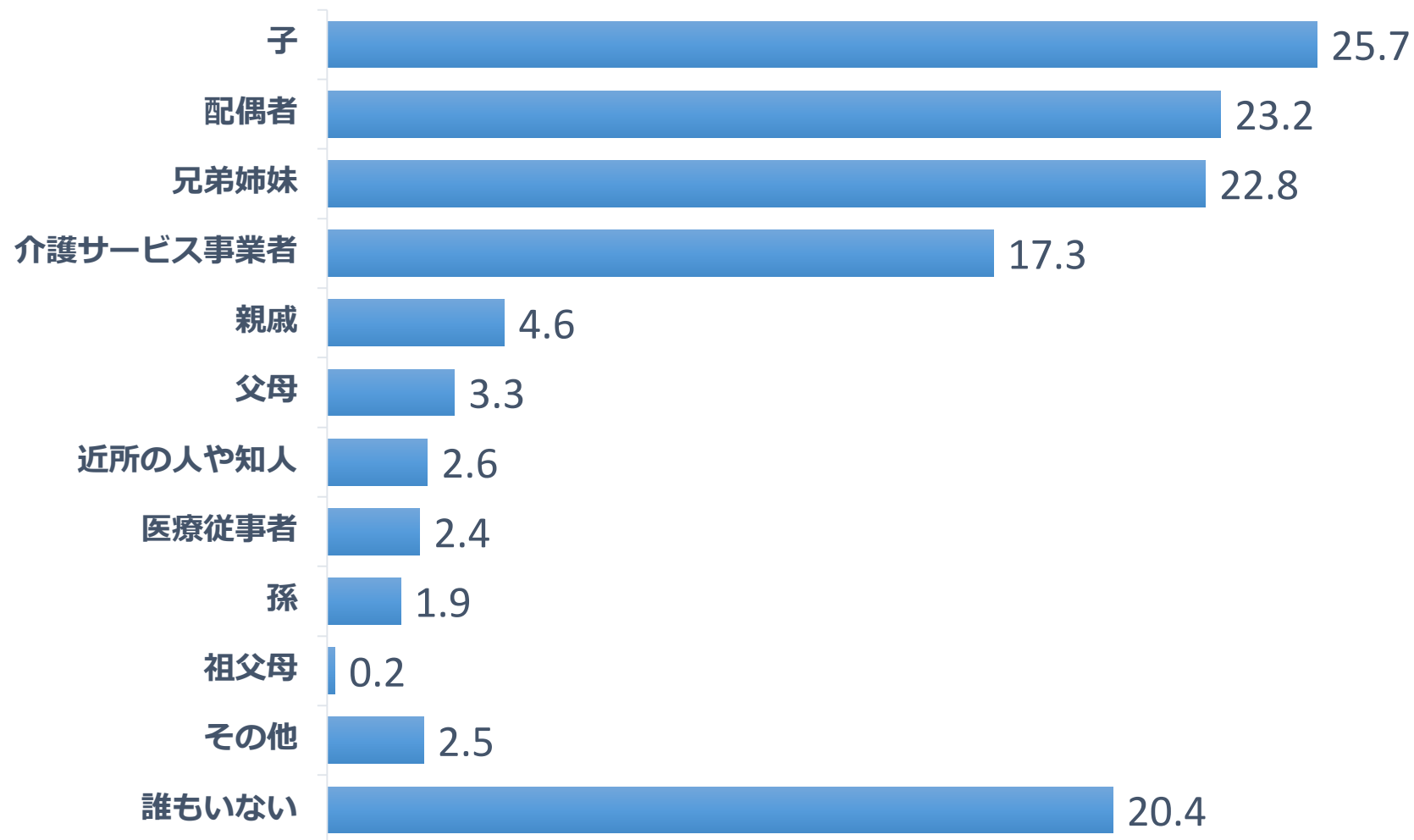


【あなたの世帯や家族のこと】



(14) 緊急時等に代わりにケアをしてくれる人の有無（複数回答）

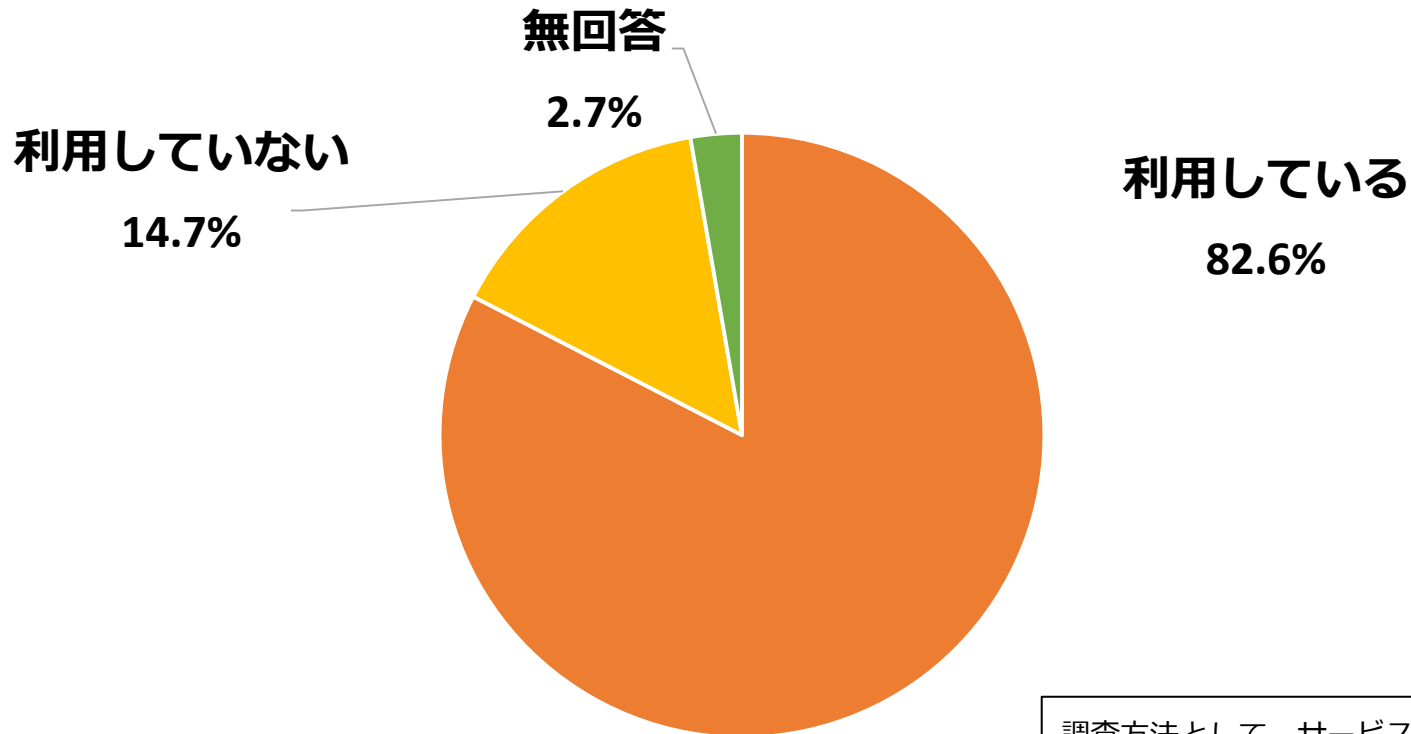
・ 緊急時などに代わりにケアをしてくれる人（N=962）をみると、「子」が25.7%で最も高く、次いで「配偶者」が23.2%であった。



3 サービスの利用状況など

(15) お世話を必要としている人の公的サービス利用の有無

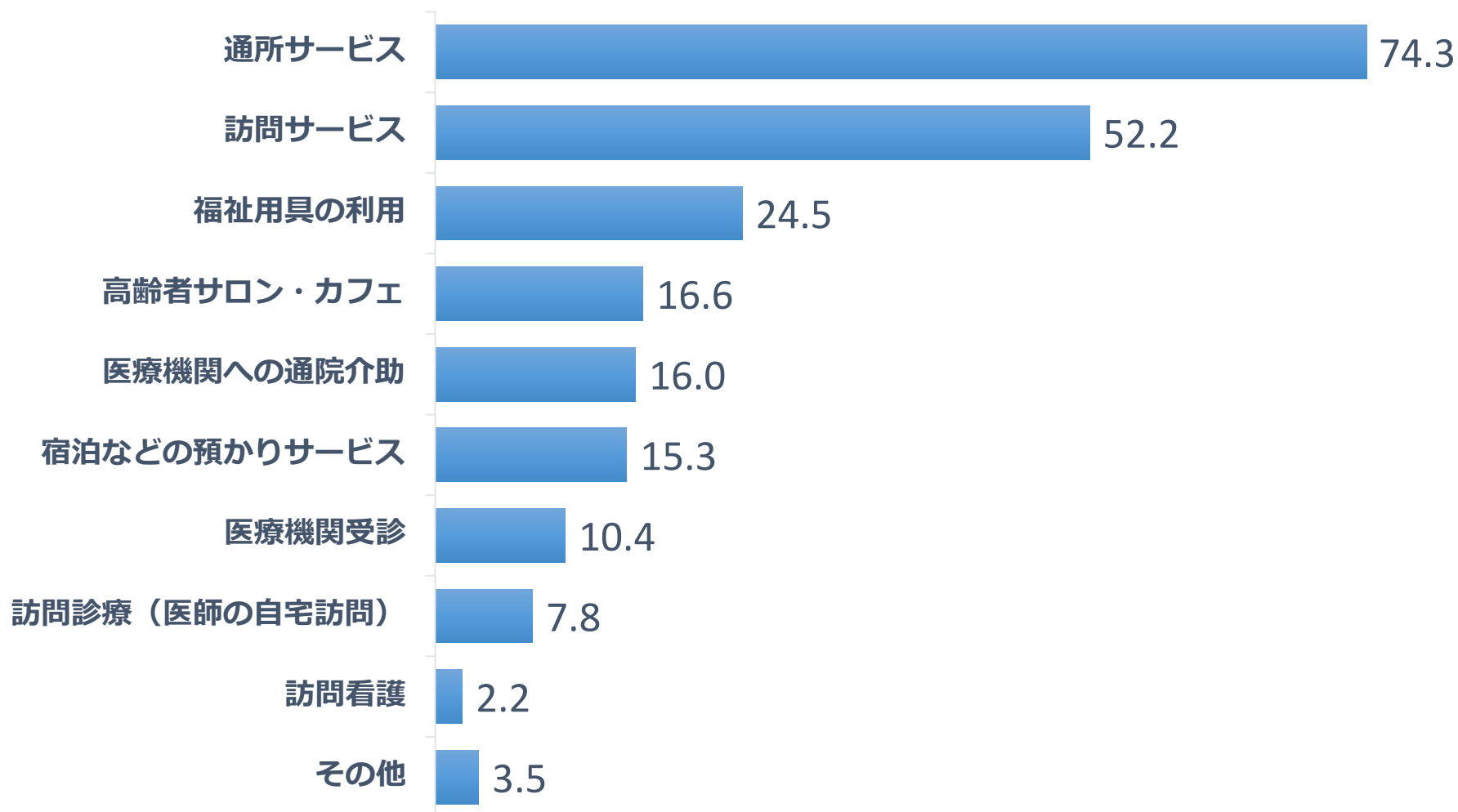
・サービス利用（N=987）の状況を見ると、「利用している」が82.6%、「利用していない」が14.7%であった。



調査方法として、サービス利用者と未利用者を4：1の比率で抽出している。

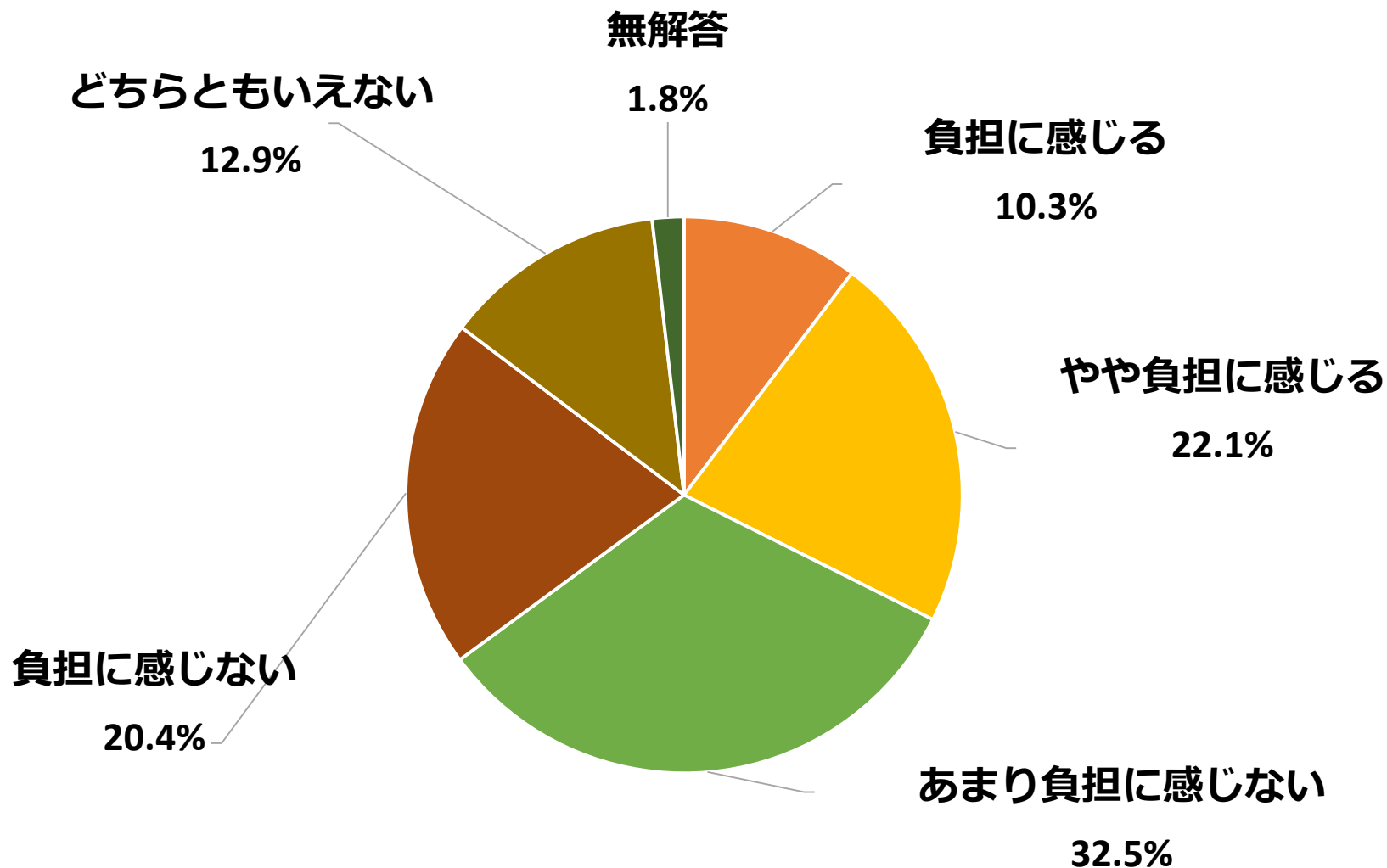
(16) 利用しているサービス（複数回答）

・利用しているサービス（N=808）の状況を見ると、「通所サービス」が74.3%で最も高く、次いで「訪問サービス」が52.2%であった。



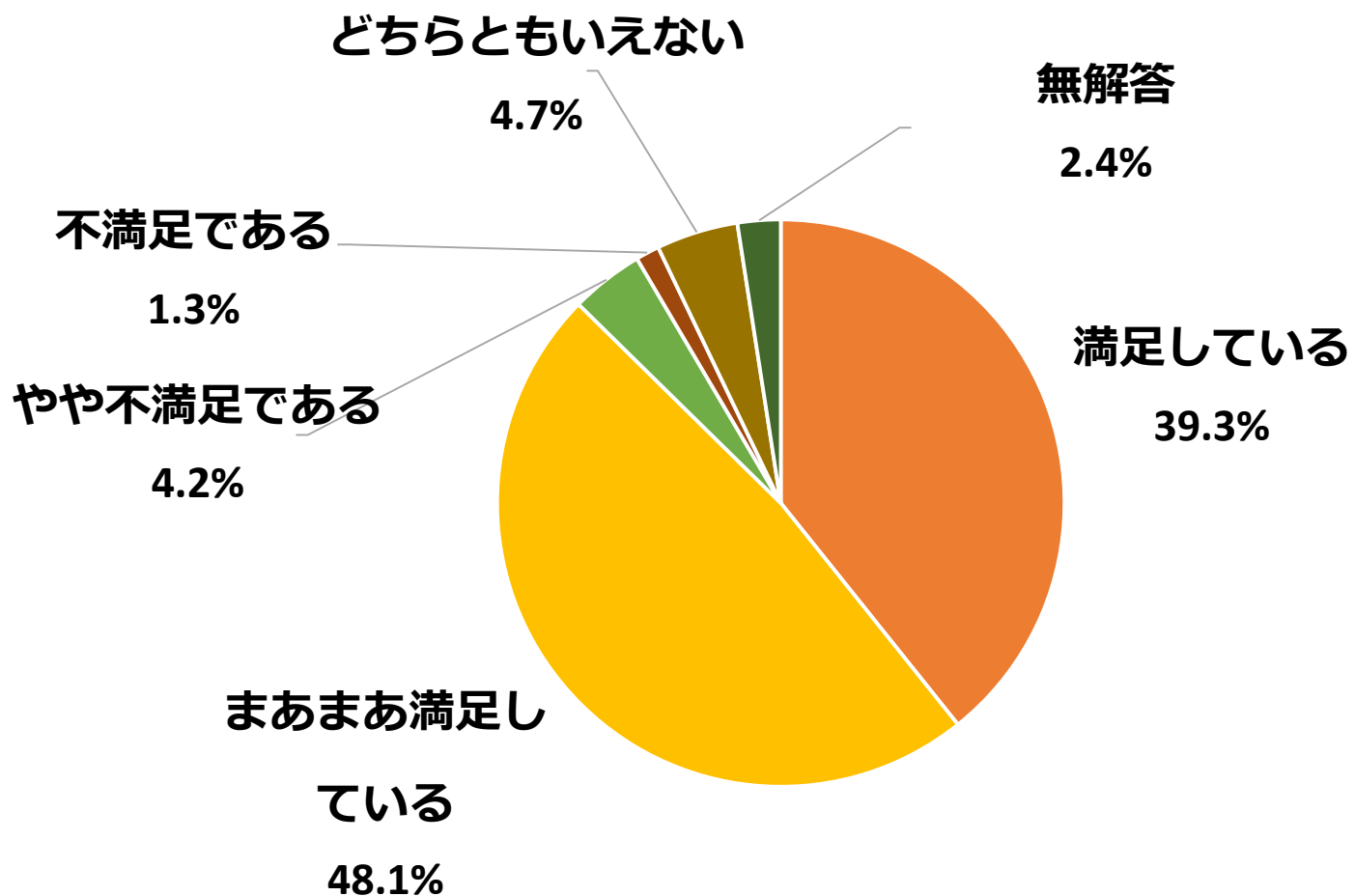
(17) サービス利用料に関する負担感

・ サービス利用料の負担感 (N=815) をみると、「あまり負担に感じない」が32.5%で最も高く、次いで「やや負担に感じる」が22.1%であった。



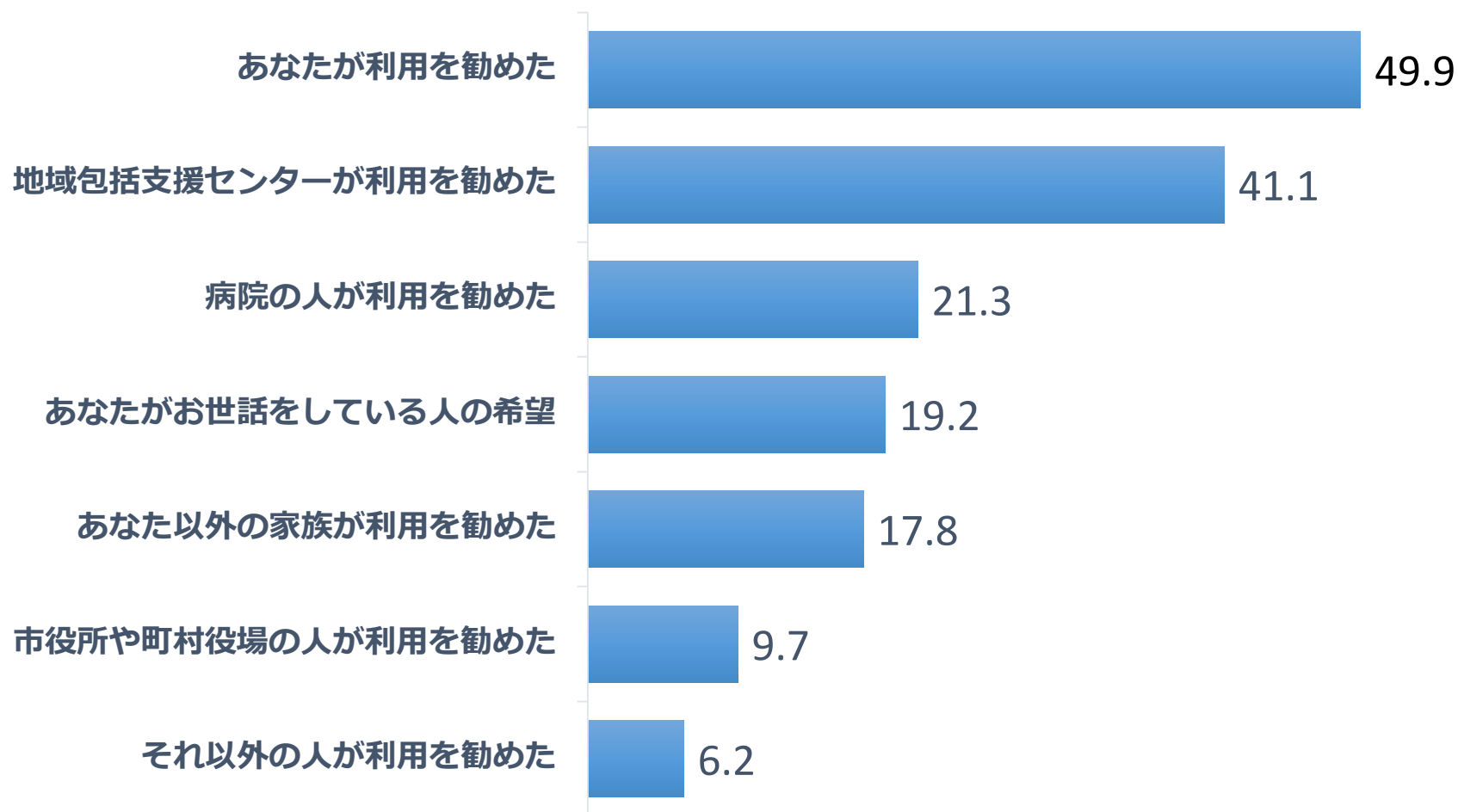
(18) 現在利用している公的サービスへの満足感

・サービスの満足感（N=815）をみると、「まあまあ満足している」が48.1%で最も高く、次いで「満足している」が39.3%であった。



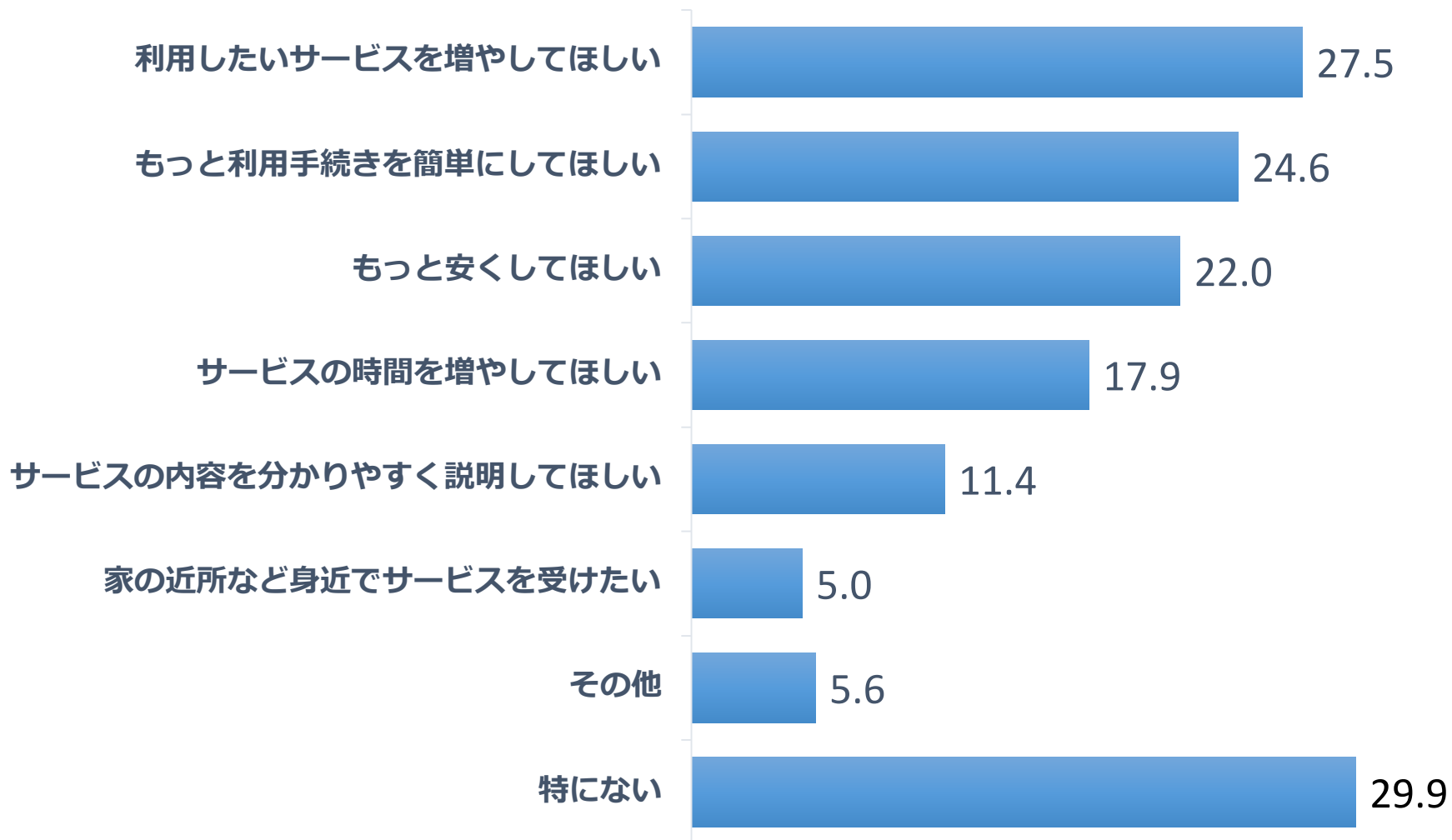
(19) サービス利用のきっかけ（複数回答）

・ サービス利用のきっかけ（N=802）の状況を見ると、「ケアラー（あなた）が利用を勧めた」が49.9%で最も高く、次いで「地域包括支援センターが利用を勧めた」が41.1%であった。



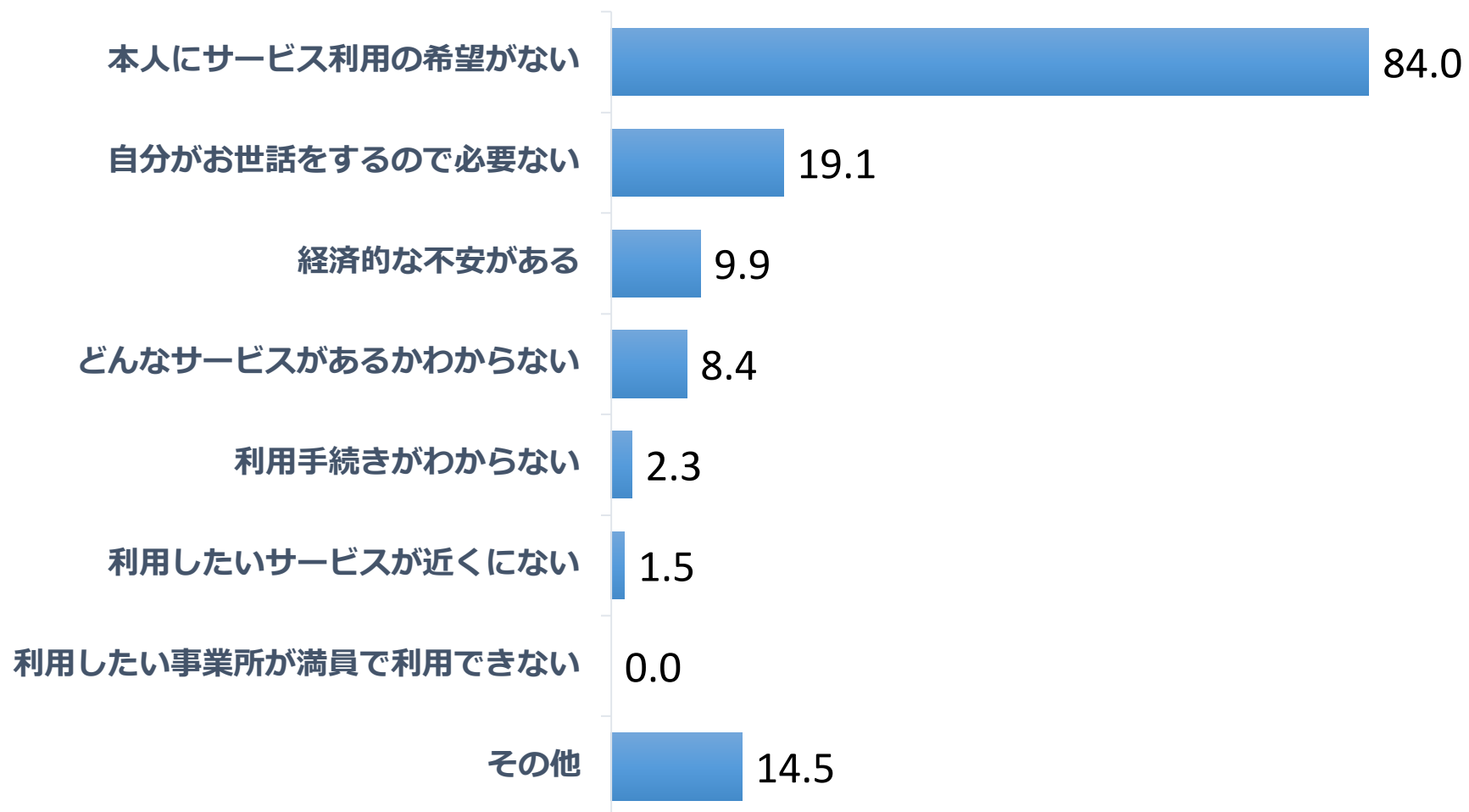
(20) サービス利用にあたり必要な配慮（複数回答）

・ サービス利用に必要な配慮（N=737）をみると、「特にない」が29.9%で最も高く、次いで「利用したいサービスを増やしてほしい」が27.5%であった。



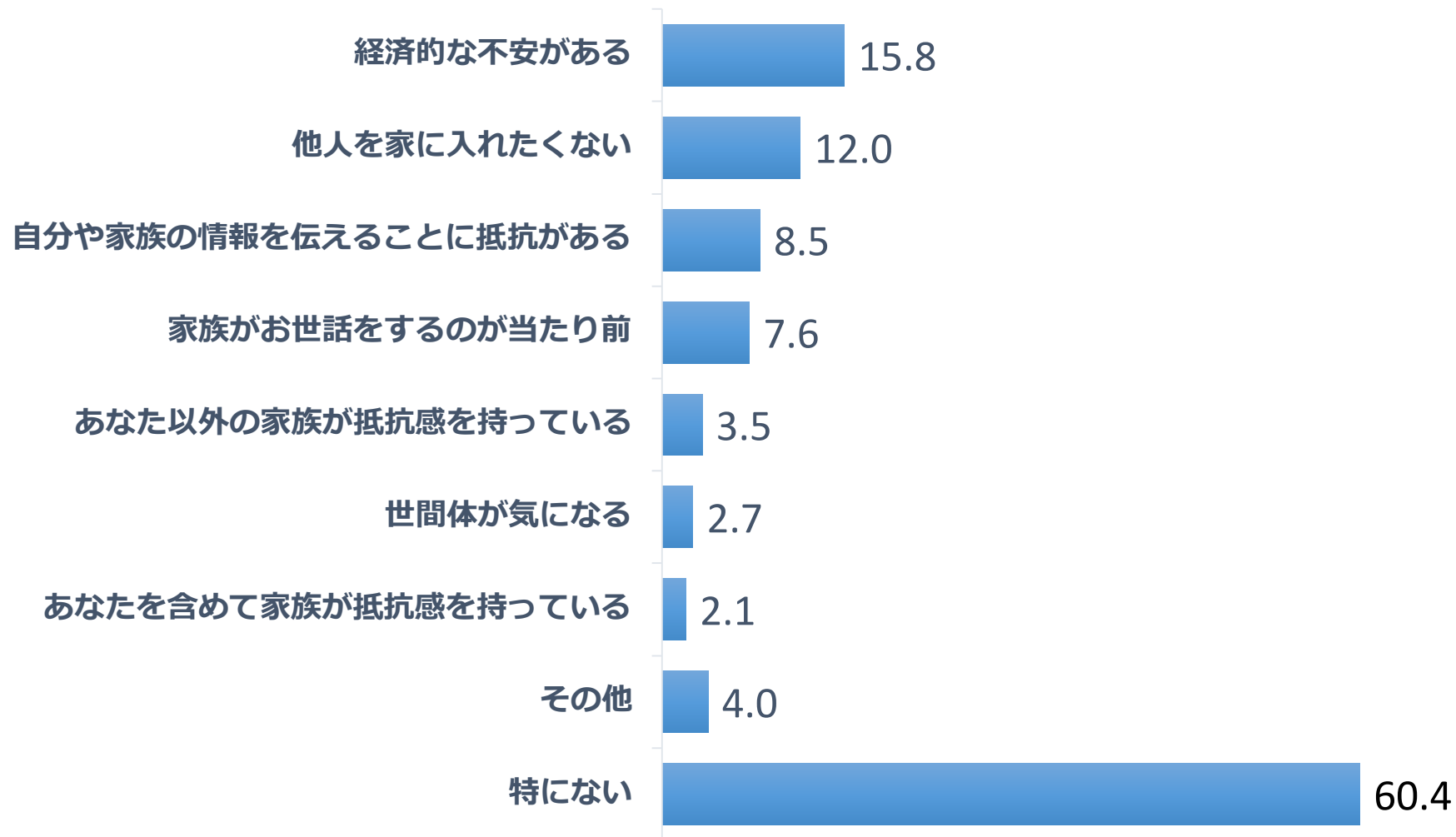
(21) サービスを利用していない理由（複数回答）

・ サービスを利用していない理由（N=131）をみると、「本人にサービス利用の希望がない」が84.0%で最も高く、次いで「自分がお世話するので必要ない」が19.1%であった。



(22) サービス利用の抵抗感（複数回答）

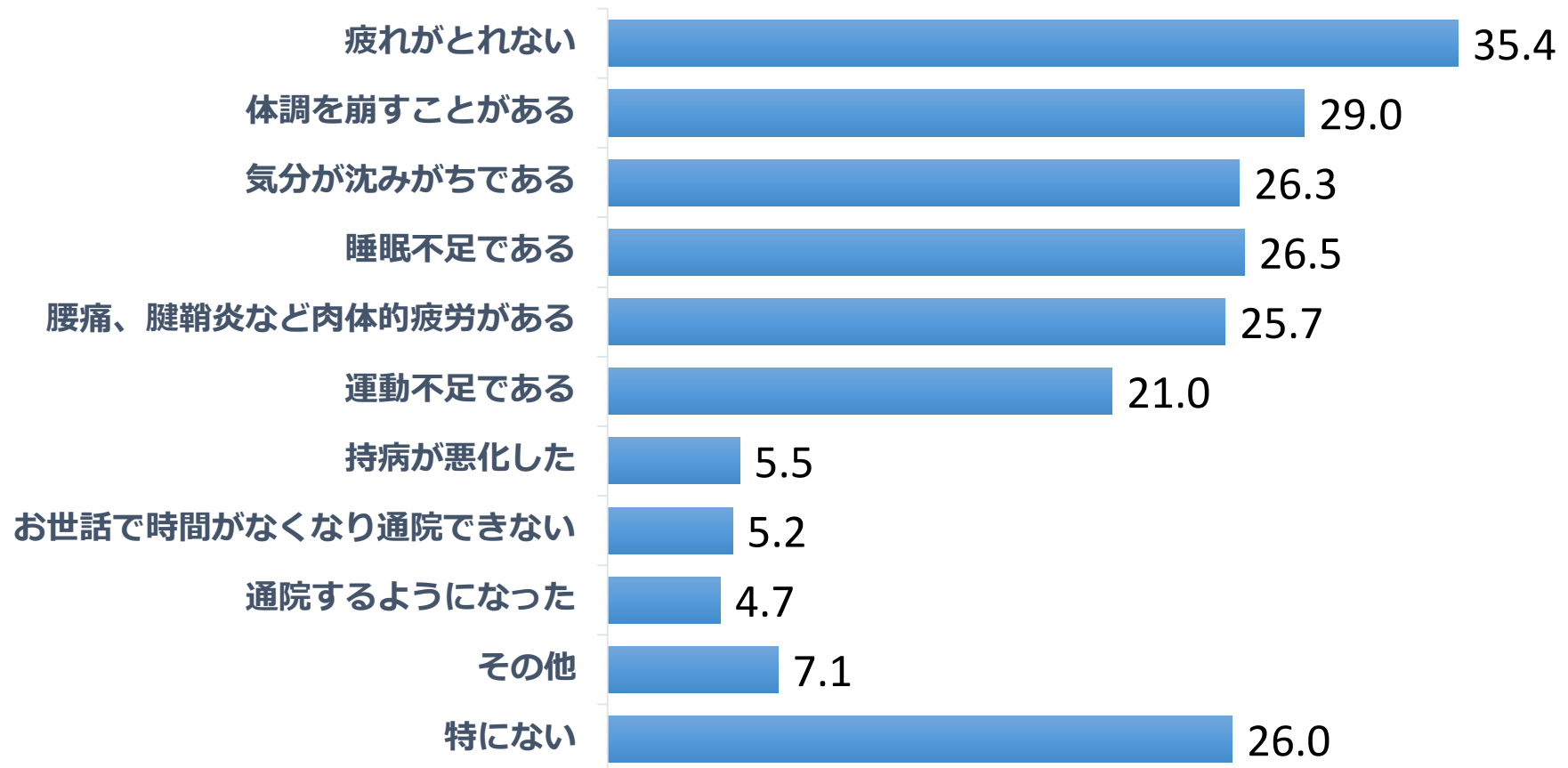
・ サービス利用の抵抗感（N=632）をみると、「特にない」が60.4%で最も高く、次いで「経済的な不安がある」が15.8%であった。



4 ケアラーの生活状況

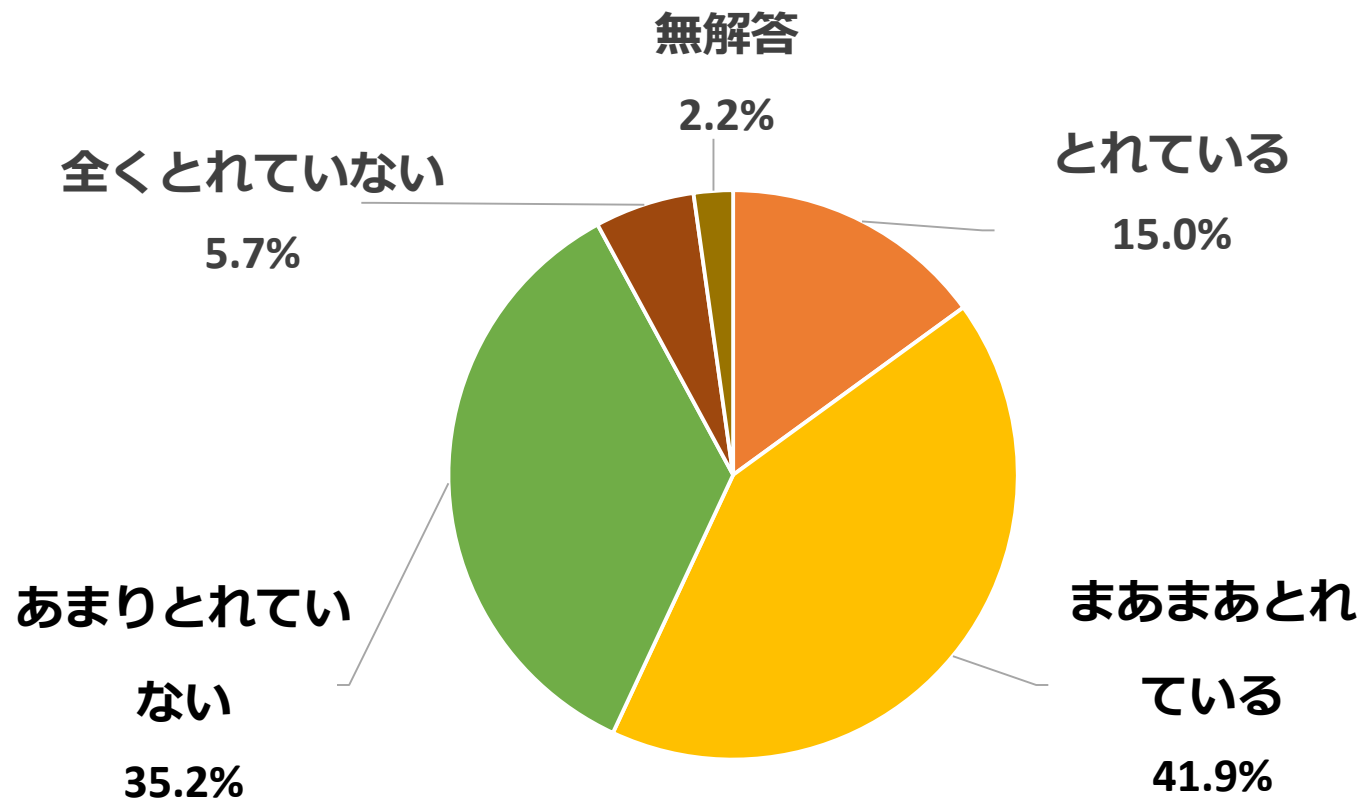
(23) ケアをすることによる健康状態への影響（複数回答）

・ケアをすることによる健康状態への影響（N=917）をみると、「疲れがとれない」が35.4%で最も高く、次いで「体調を崩すことがある」が29.0%であった。



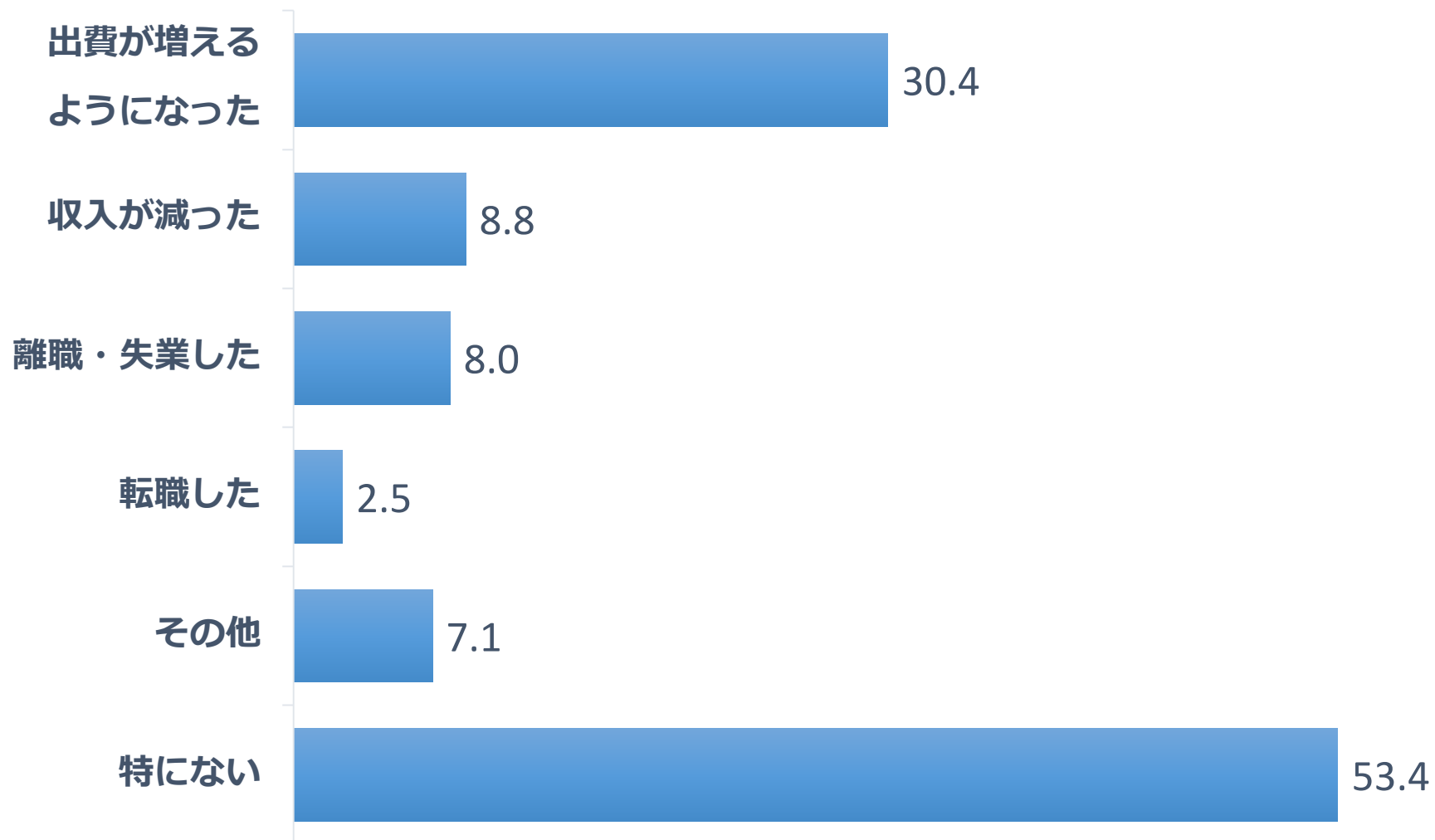
(24) 趣味や休息など自分のための時間

・自分のための時間がとれているか (N=987) をみると、「まあまあとれている」が41.9%で最も高く、次いで「あまりとれていない」が35.2%であった。



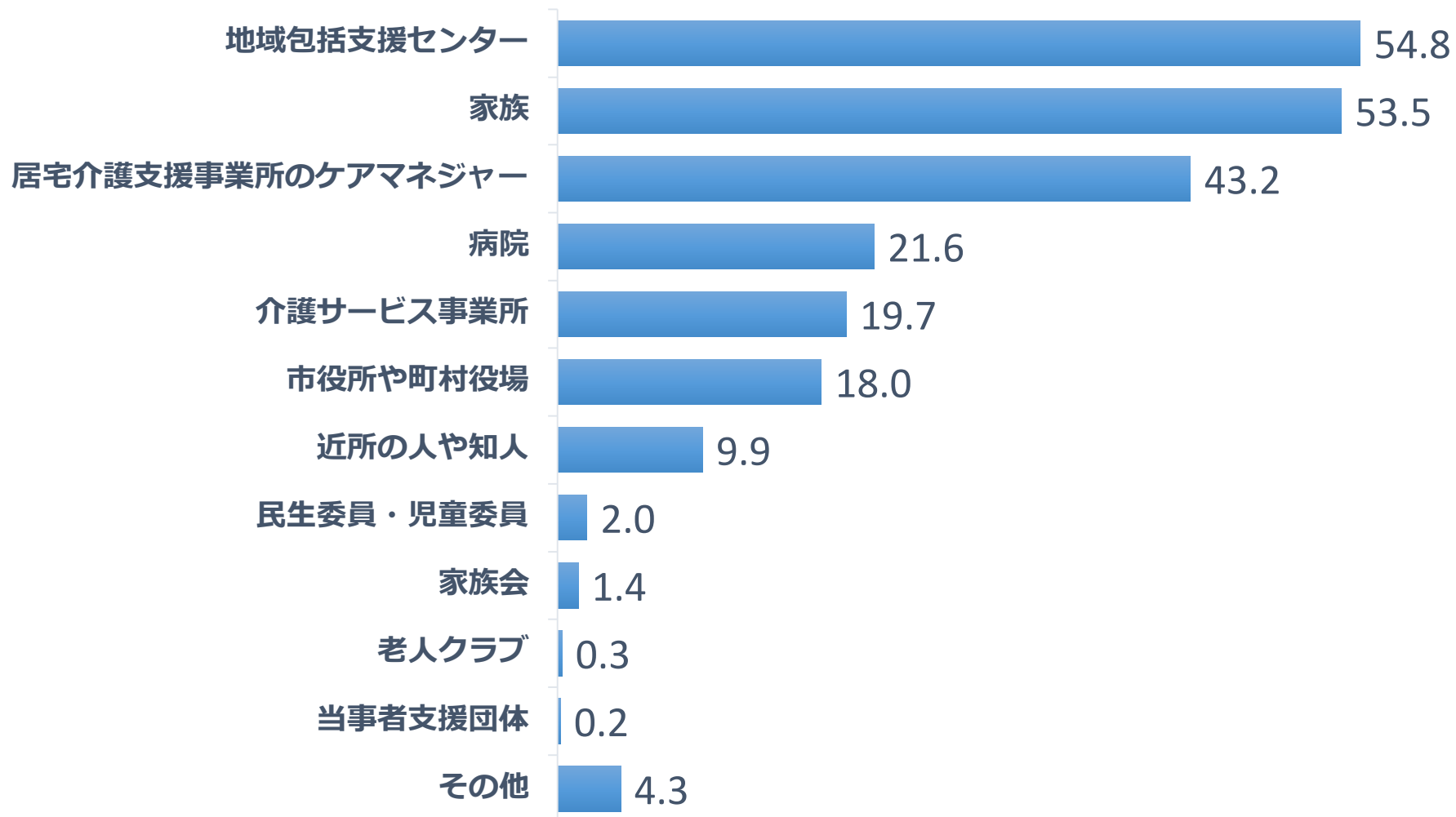
(25) ケアをすることによる生活への影響（複数回答）

・ケアをすることによる生活への影響（N=871）をみると、「特にない」が53.4%で最も高く、次いで「出費が増えるようになった」が30.4%であった。



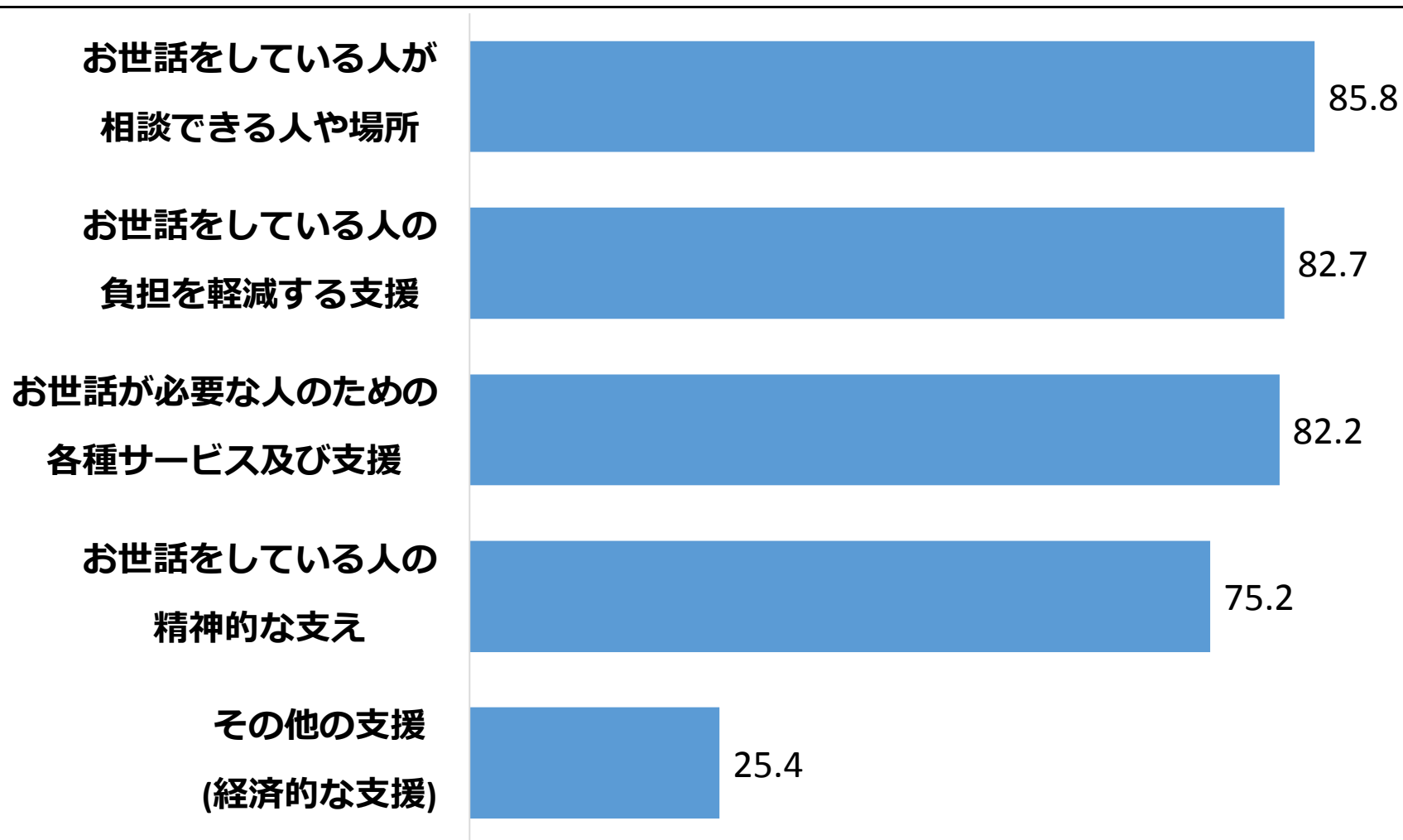
(26) ケアラーの相談先（複数回答）

・ケアラーの相談先（N=951）の状況を見ると、「地域包括支援センター」が54.8%で最も高く、次いで「家族」が53.5%であった。



(27-1) ケアラーが求めている支援【分類別：複数回答】

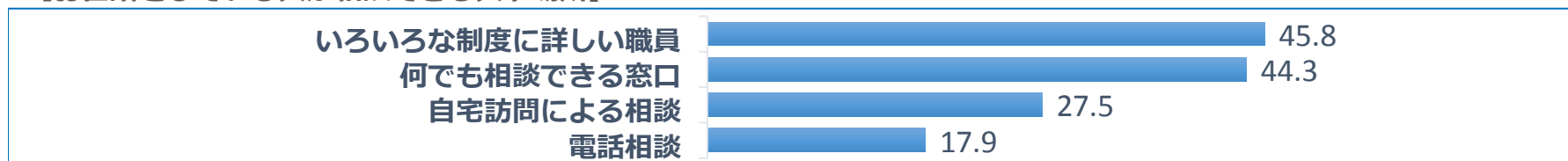
・必要な支援（N=925）の状況を分類別にみると、「お世話をしている人が相談できる人や場所」が85.8%で最も高く、次いで「お世話をしている人の負担を軽減する支援」が82.7%であった。



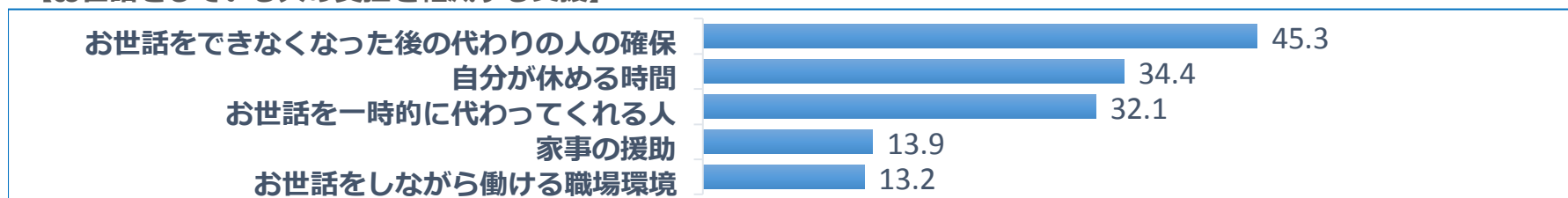
(27-2) ケアラーが求めている支援【選択肢別：複数回答】

・必要な支援（N=925）の状況を選択肢別にみると、「緊急時でも安心して預かってくれる場所」が59.6%で最も高く、次いで「自分の話を聞いてくれる人」が49.1%であった。

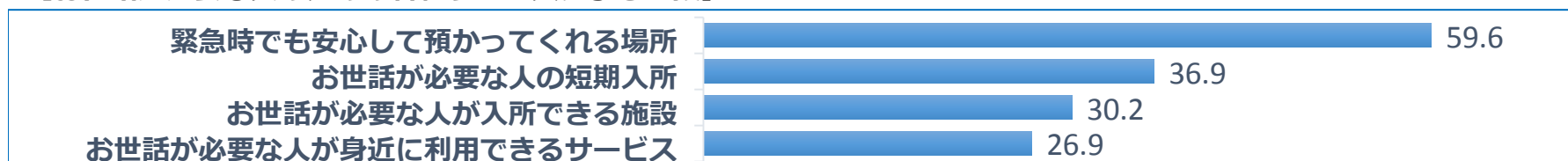
【お世話をしている人が相談できる人や場所】



【お世話をしている人の負担を軽減する支援】



【お世話が必要な人のための各種サービスによる支援】



【お世話をしている人の精神的な支え】



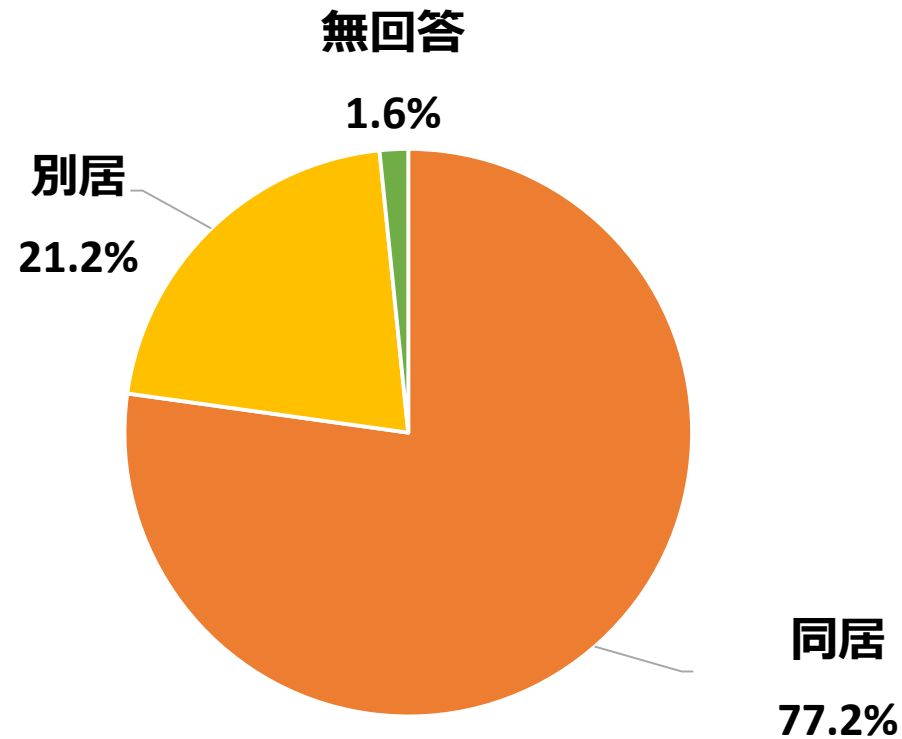
【その他】



5 ケアラーの家族

(28) お世話を必要としている人との同居・別居

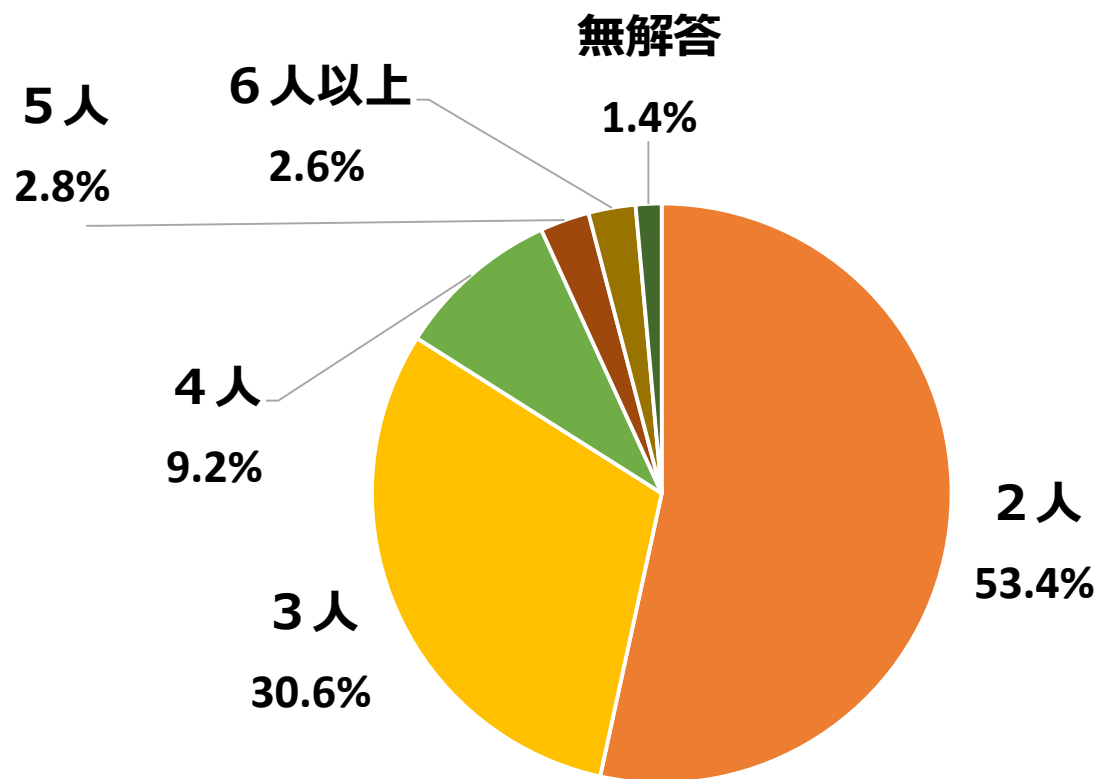
・お世話を必要としている人との同居・別居（N=987）の状況を見ると、「同居」が77.2%で、「別居」が21.2%であった。



(29) ケアラーの世帯の人数

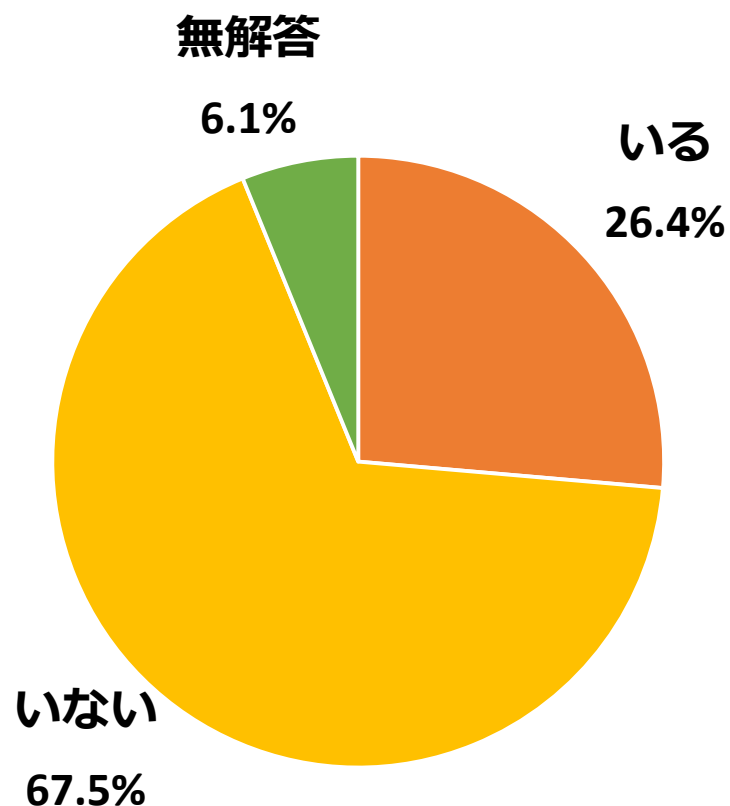
(ケアラーがお世話を必要としている人と同居の場合)

・ お世話を必要としている人と同居しているケアラーの世帯の人数 (N=762) をみると、「2人」が53.4%で最も高く、次いで「3人」が30.6%であった。



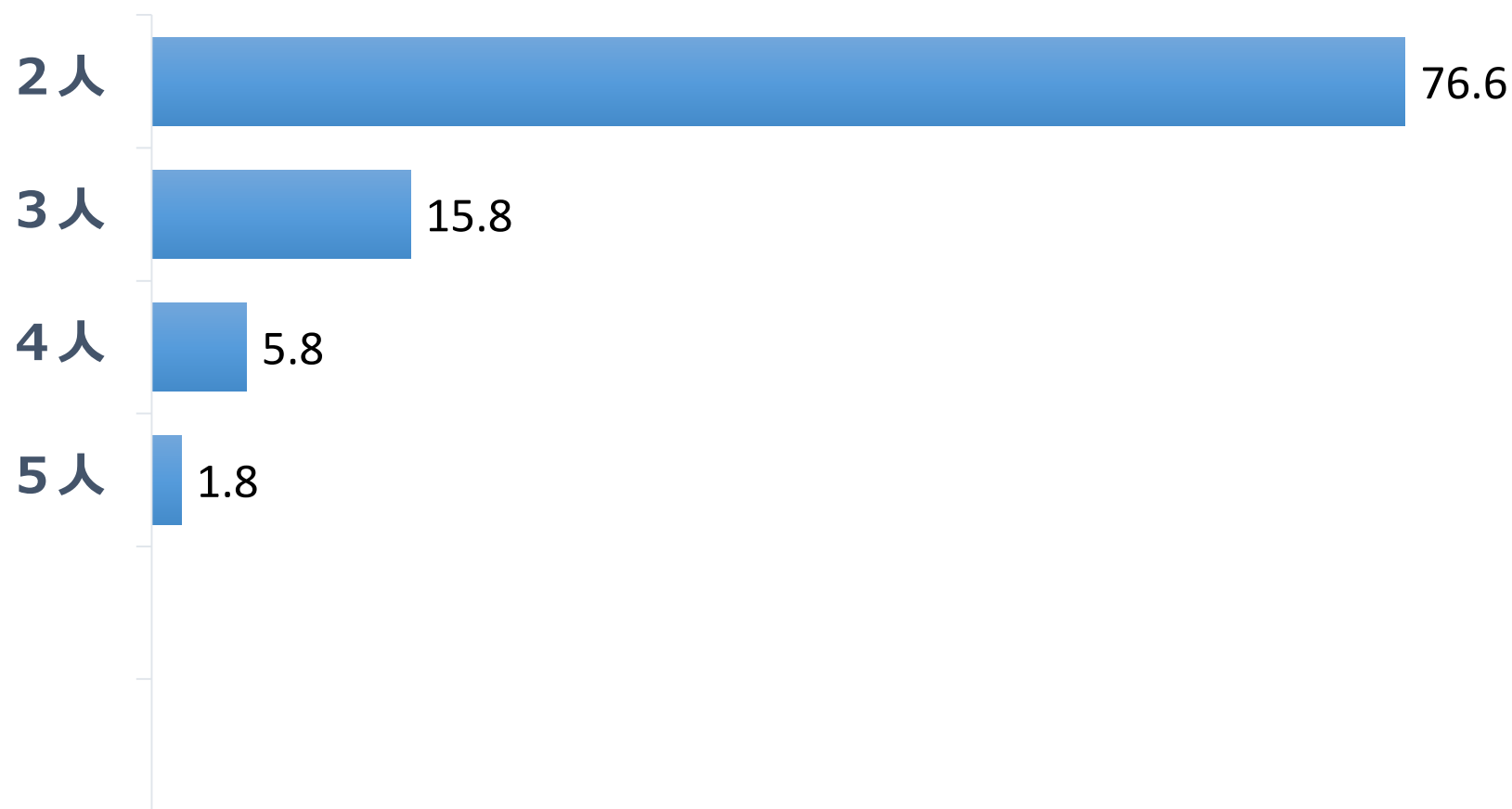
(30-1) ケアをしている人は2人以上いるか (ケアラーがお世話を必要としている人と同居の場合)

・お世話を必要としている人と同居しているケアラー（N=762）のうち、2人以上ケアしている者は26.4%であった。



(30-2) ケアラーが複数の人をケアしている場合の人数 (ケアラーがお世話を必要としている人と同居の場合)

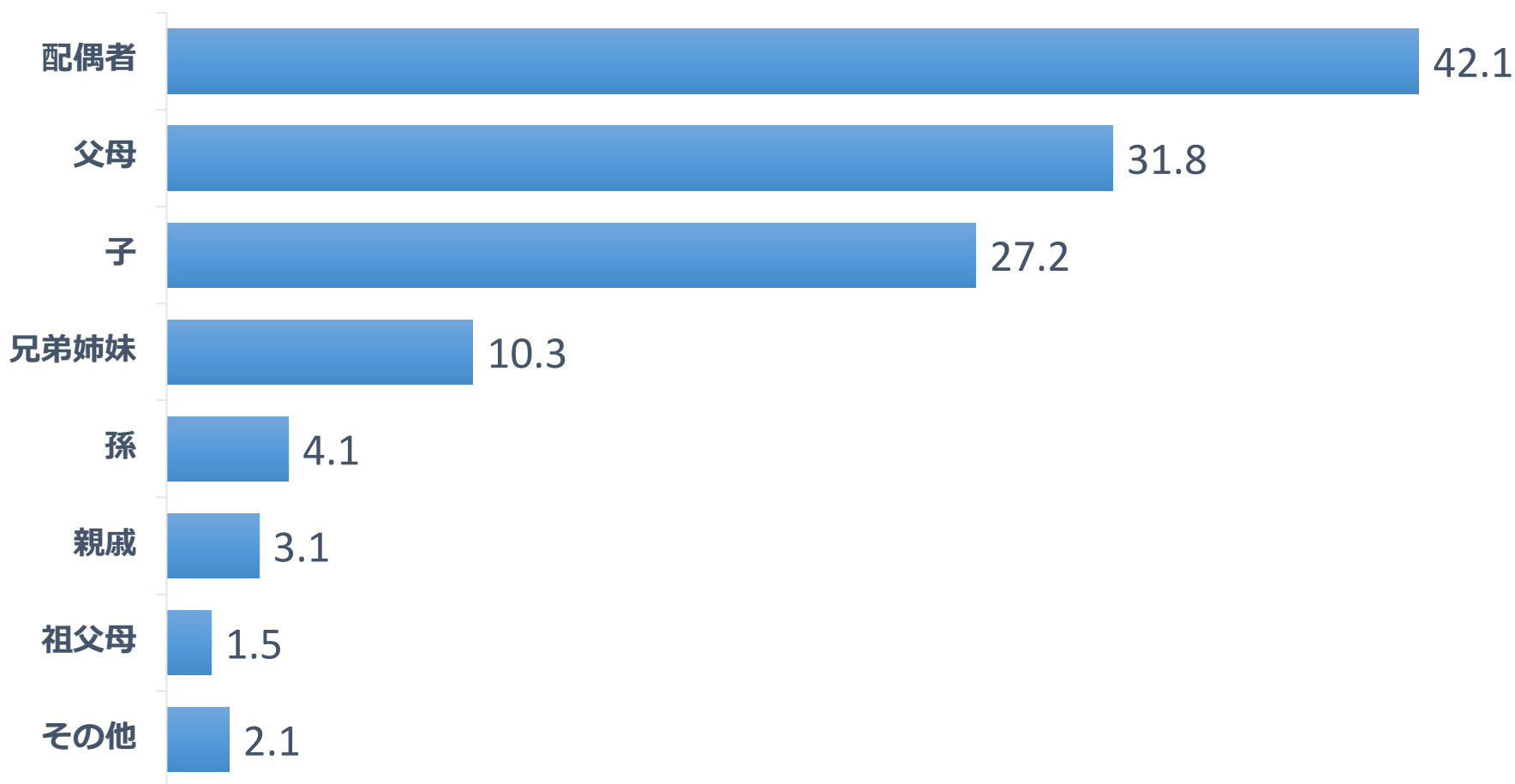
- ・ お世話を必要としている人と同居し、かつ、複数の人をケアしているケアラー (N=171) がケアしている人数をみると、「2人」が76.6%で最も高く、次いで「3人」が15.8%であった。



(30-3) ケアラーが複数の人をケアしている場合のその人との関係

(ケアラーがお世話を必要としている人と同居の場合：複数回答)

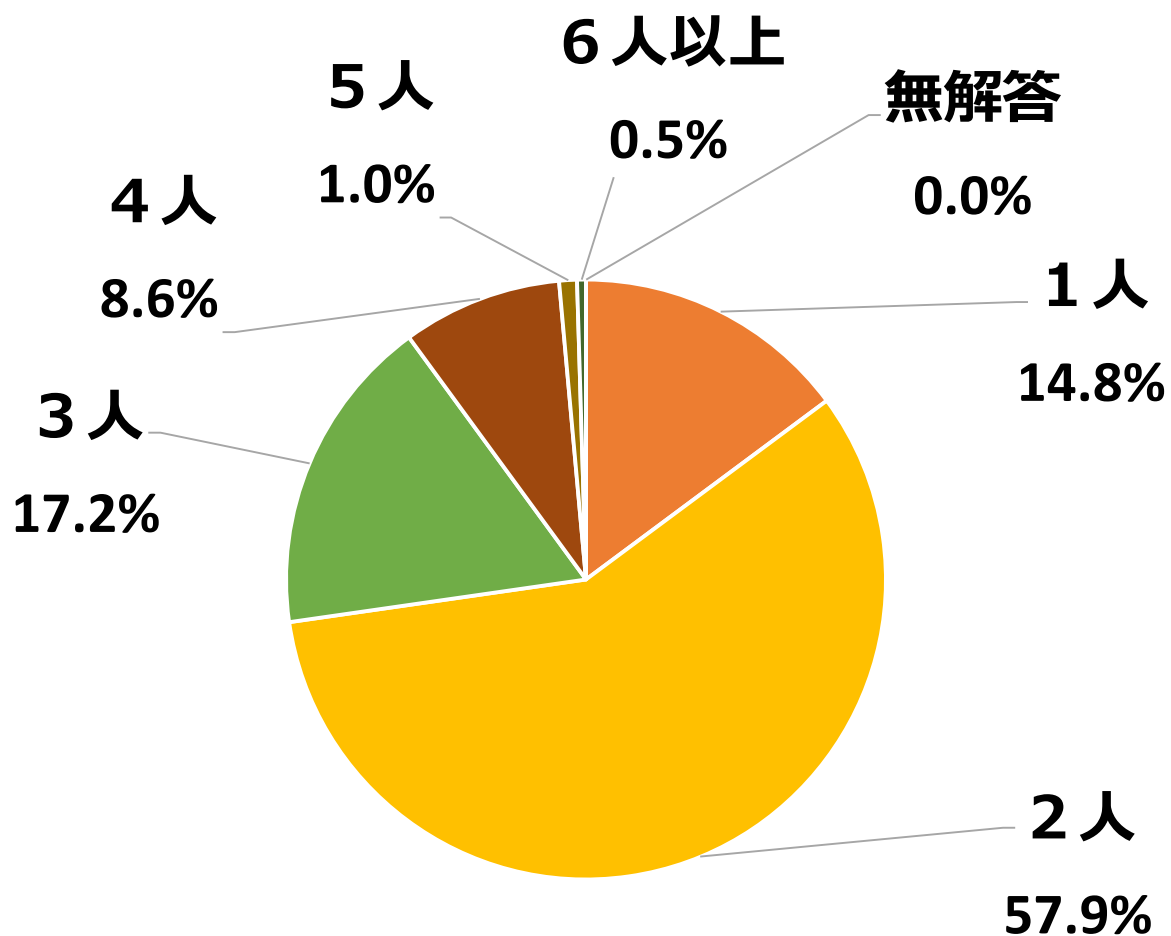
・お世話を必要としている人と同居し、かつ、複数の人をケアしているケアラー(N=195)がケアしている人との関係をみると、「配偶者」が42.1%で最も高く、次いで「父母」が31.8%であった。



(31) ケアラーの世帯の人数

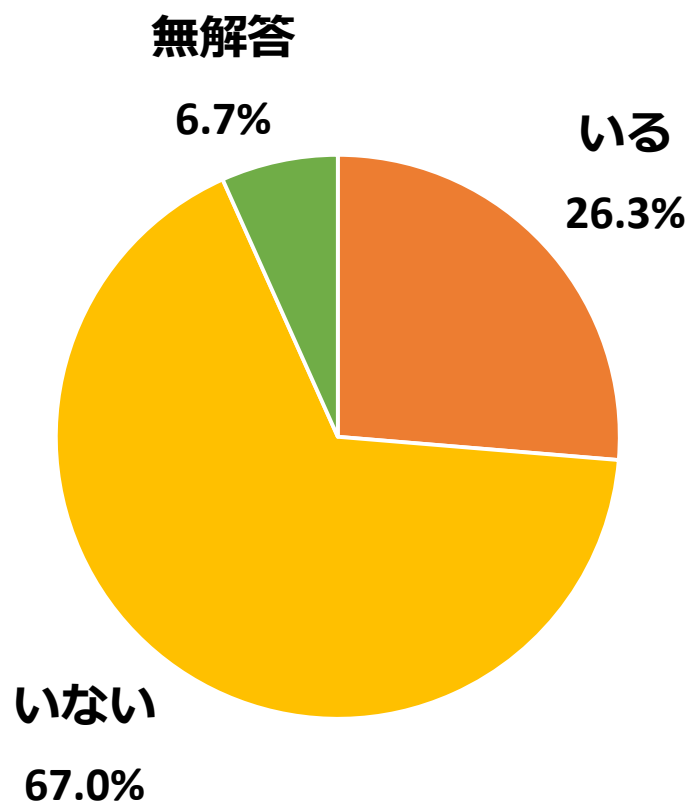
(ケアラーがお世話を必要としている人と別居の場合)

・ お世話を必要としている人と別居しているケアラーの世帯の人数 (N=209) をみると、「2人」が57.9%で最も高く、次いで「3人」が17.2%であった。



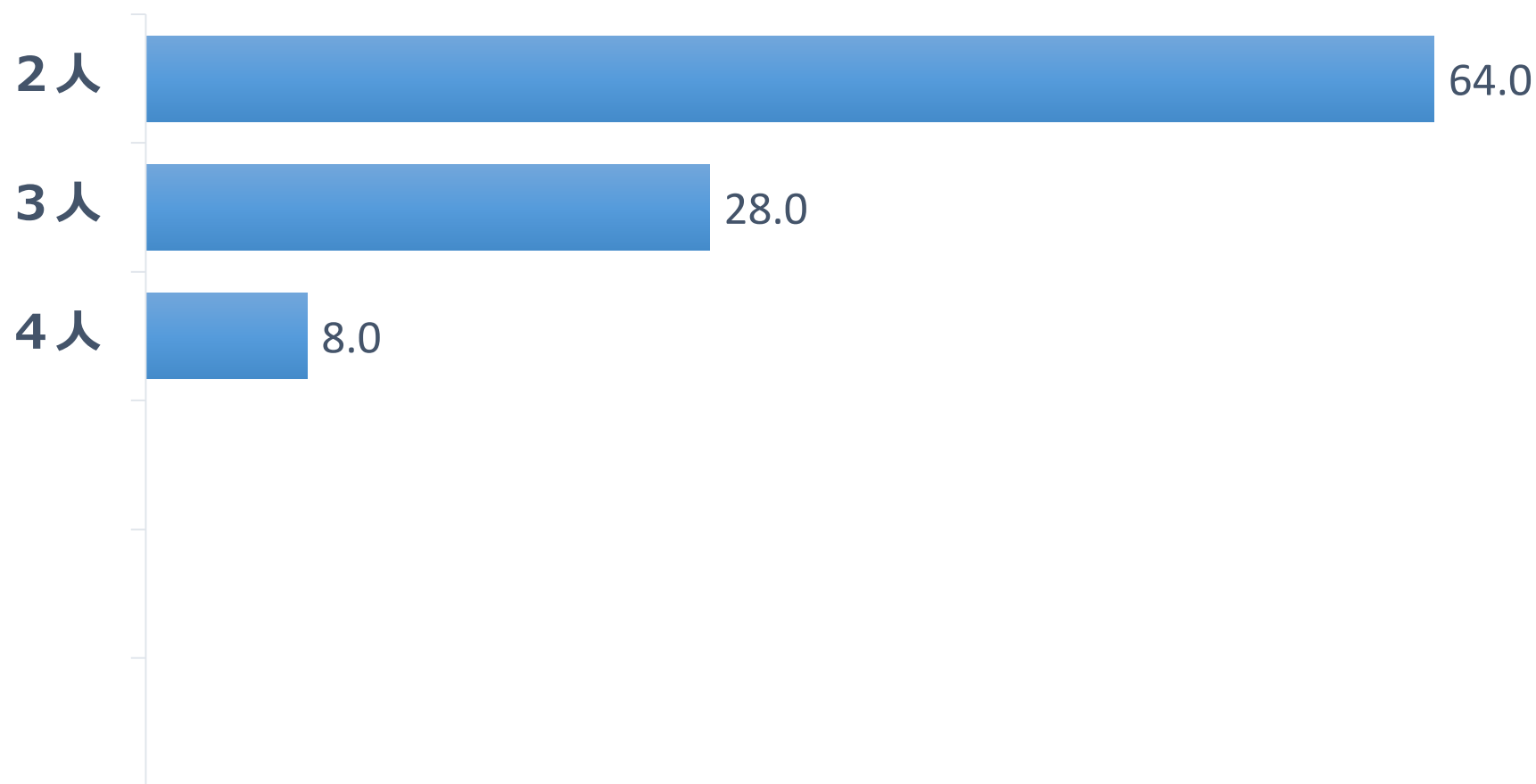
(32-1) ケアをしている人は2人以上いるか (ケアラーがお世話を必要としている人と別居の場合)

・お世話を必要としている人と別居しているケアラー（N=209）のうち、2人以上ケアしている者は26.3%であった。



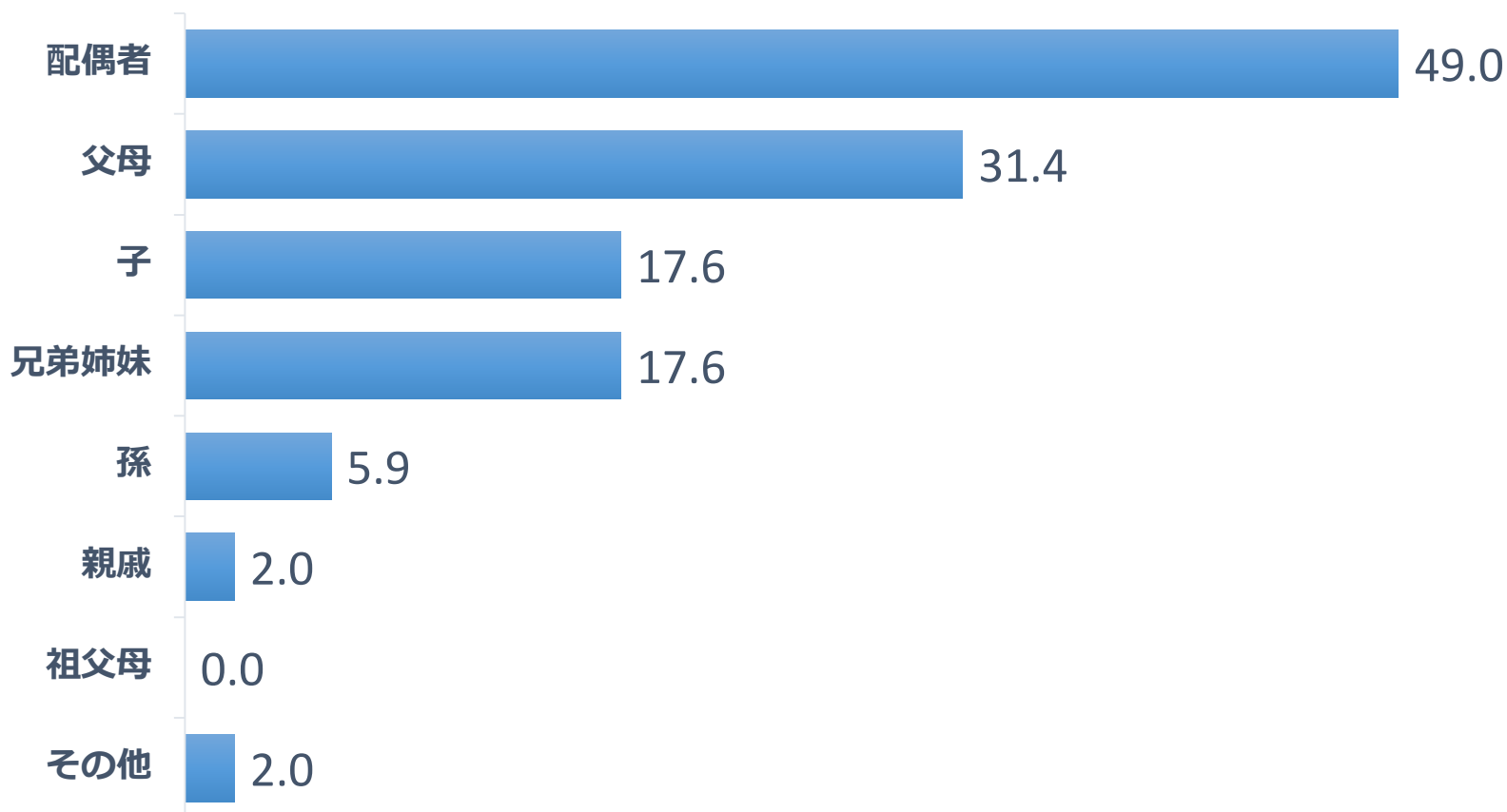
(32-2) ケアラーが複数の人をケアしている場合の人数 (ケアラーがお世話を必要としている人と別居の場合)

・お世話を必要としている人と別居しており、かつ、複数の人をケアしているケアラー（N=50）がケアしている人数をみると、「2人」が64.0%で最も高く、次いで「3人」が28.0%であった。



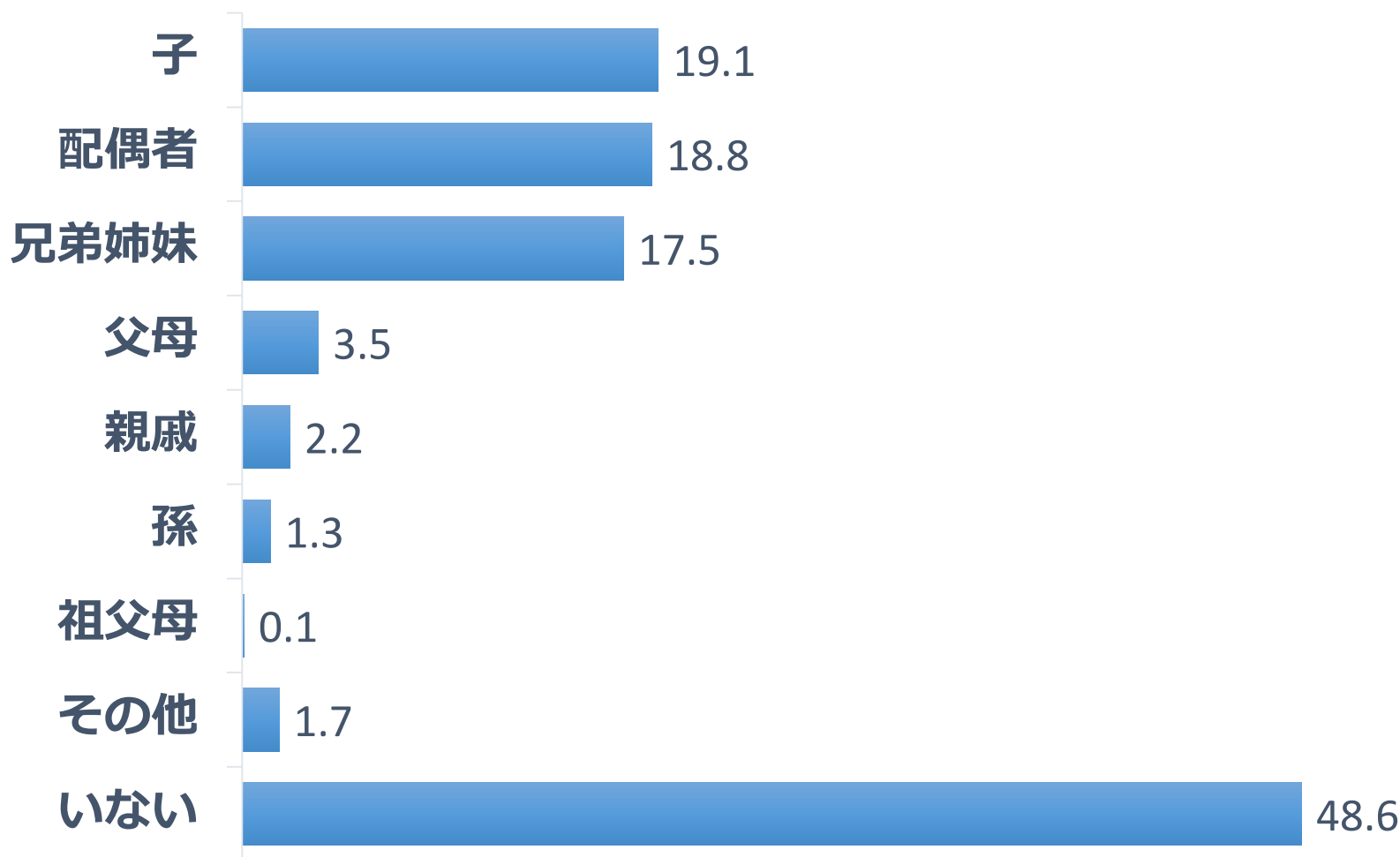
(32-3) ケアラーが複数の人をケアしている場合のその人との関係 (ケアラーがお世話を必要としている人と別居の場合：複数回答)

・お世話を必要としている人と別居しており、かつ、複数の人をケアしているケアラー（N=51）がケアしている人との関係を見ると、「配偶者」が49.0%で最も高く、次いで「父母」が31.4%であった。



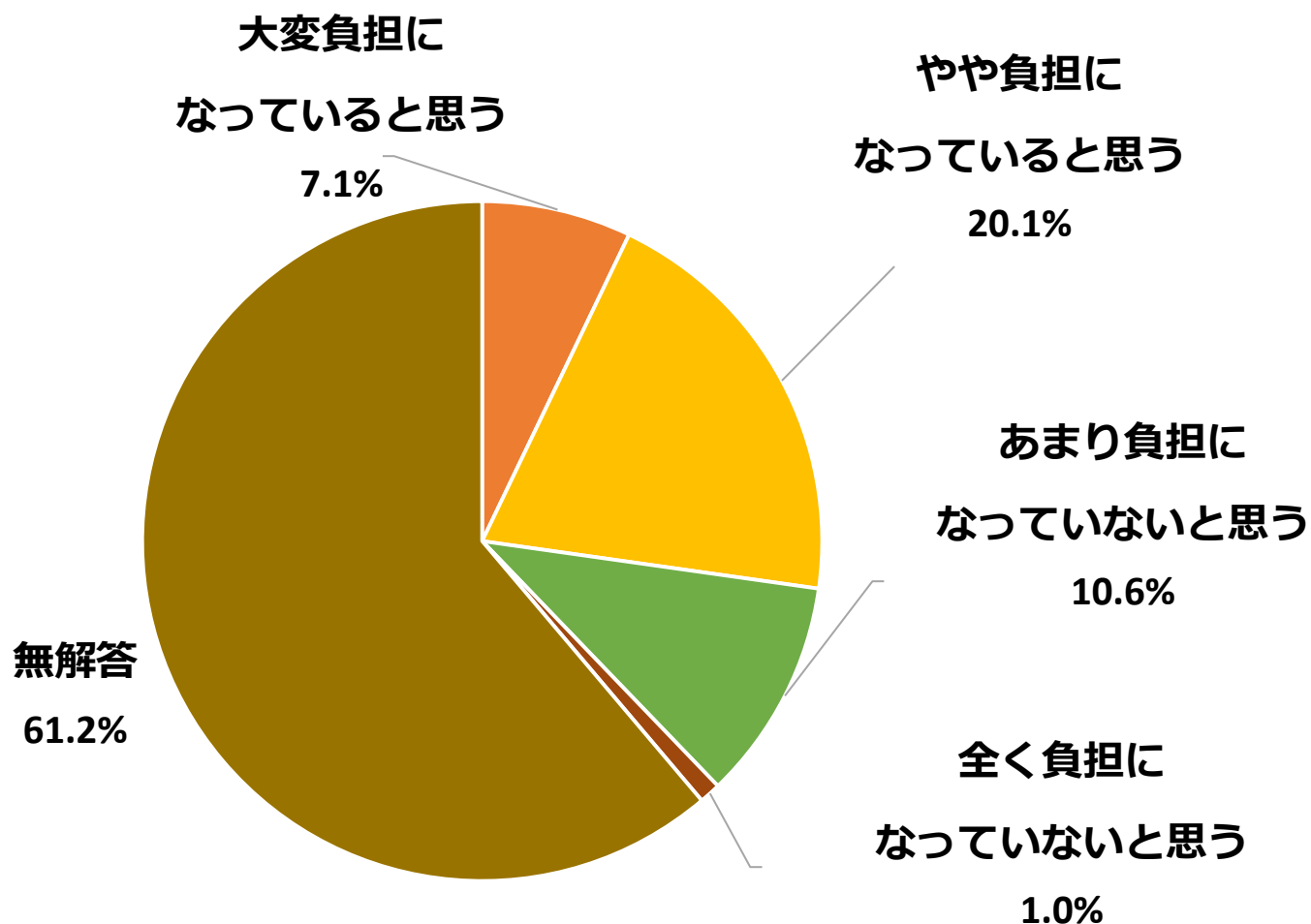
(33) ケアラー（あなた）と日常的に介護を分担してくれる人の状況（複数回答）

・日常的に介護を分担してくれる人（N=958）の状況を見ると、分担してくれる人が「いない」が48.6%で最も高く、分担してくれる人がいる場合、「子」が19.1%で最も高かった。



(34) 介護を分担してくれる人にケアラーが感じている負担感

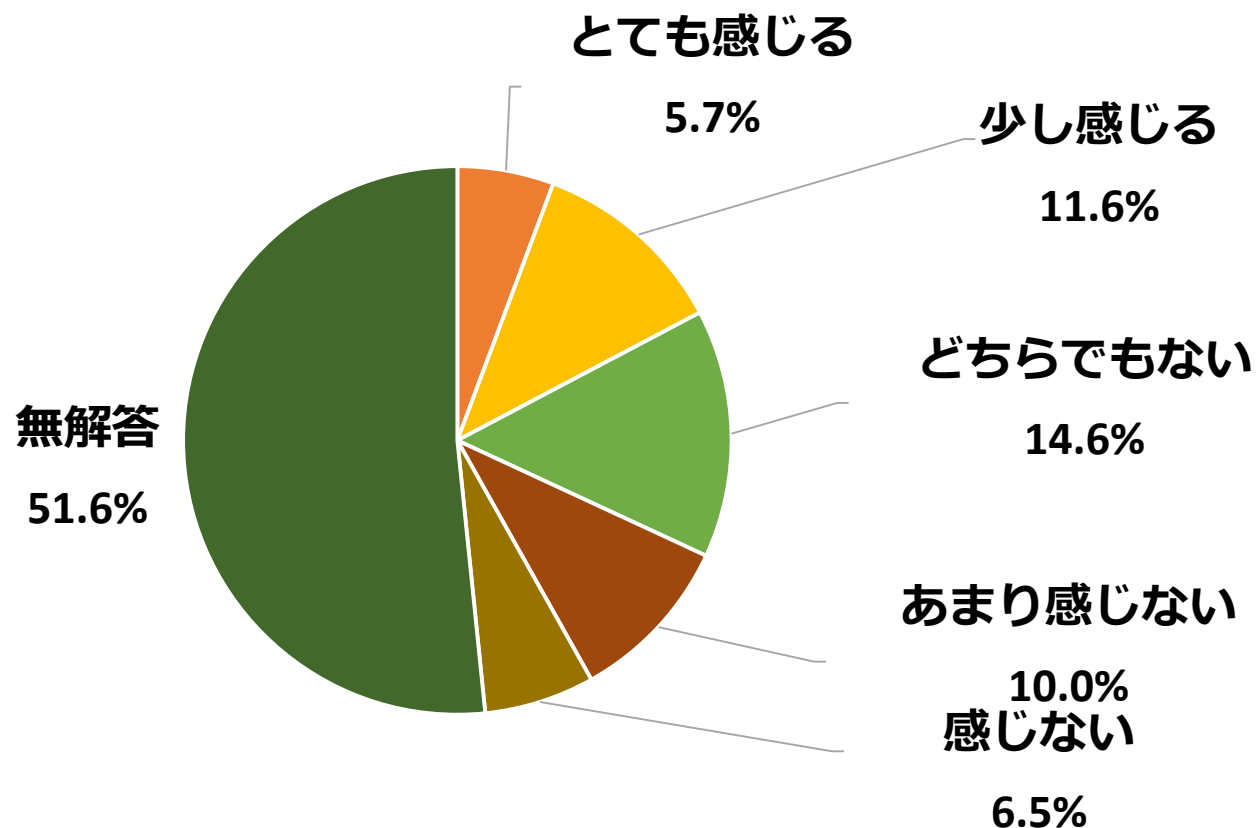
・介護を分担してくれる人にケアラーが感じている負担感（N=492）をみると、「無解答」が61.2%で最も高く、次いで「やや負担になっていると思う」が20.1%であった。



(35) ケアを分担していることについて感じていること

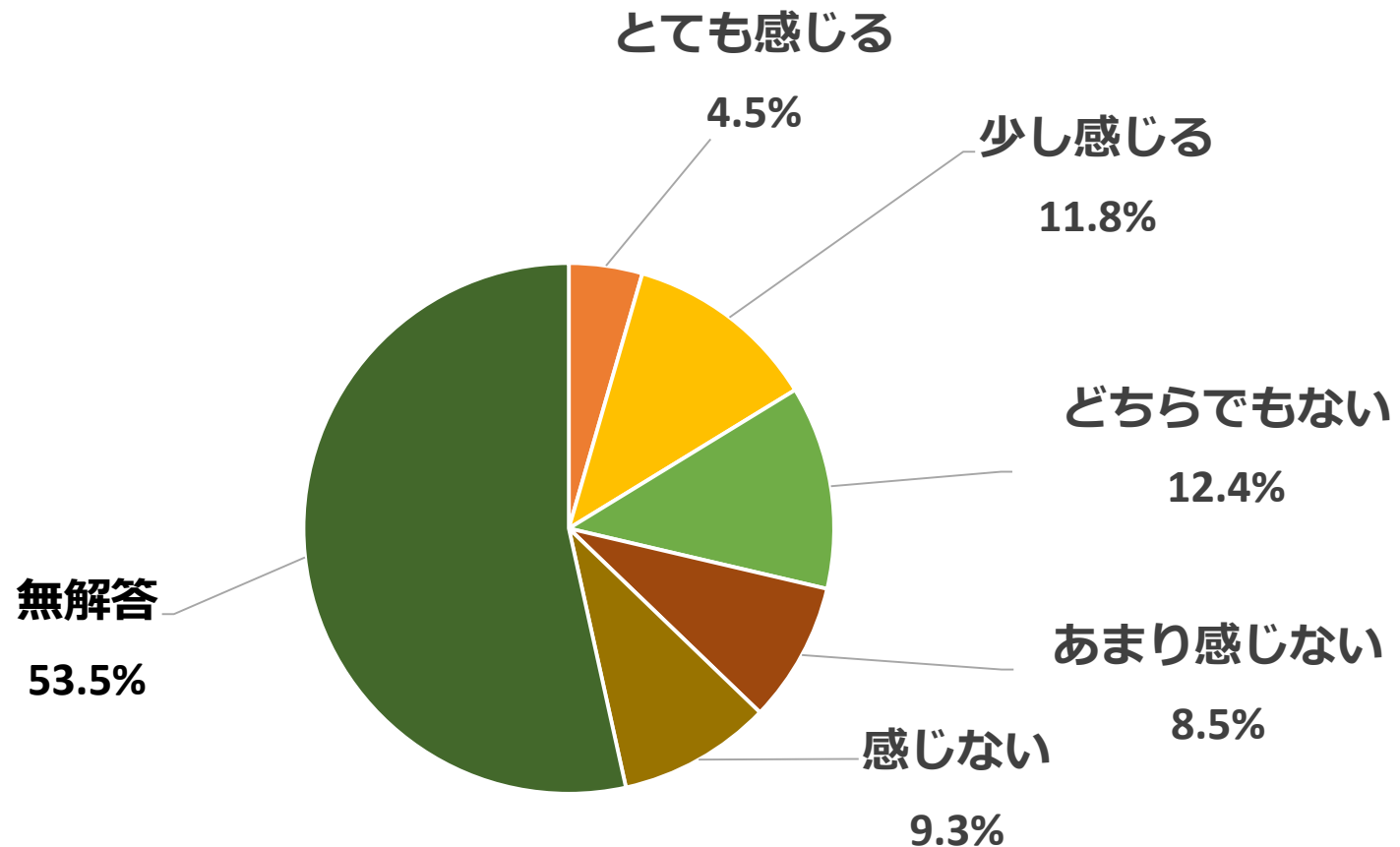
① 自分の負担を増やし分担してくれている人の負担を減らしたい

・自分の負担を増やし分担してくれている人の負担を減らしたいことについてみると（N=492）、「無解答」が51.6%で最も高く、次いで「どちらでもない」が14.6%であった。



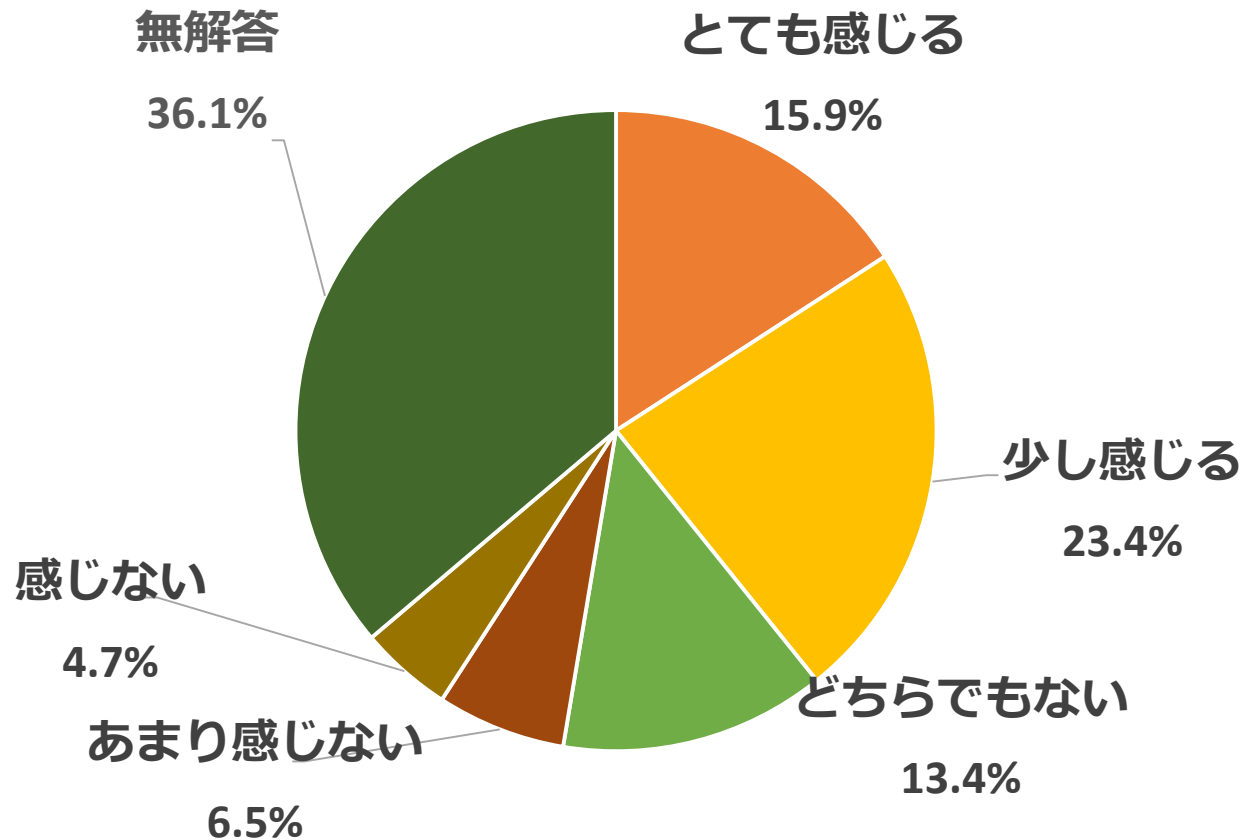
② 他の家族等に関わってもらい、自分や分担してくれている人の負担を減らしたい

・他の家族等に関わってもらい、自分や分担してくれている人の負担を減らしたいことについてみると（N=492）「無解答」が53.5%で最も高く、次いで「どちらでもない」が12.4%であった。



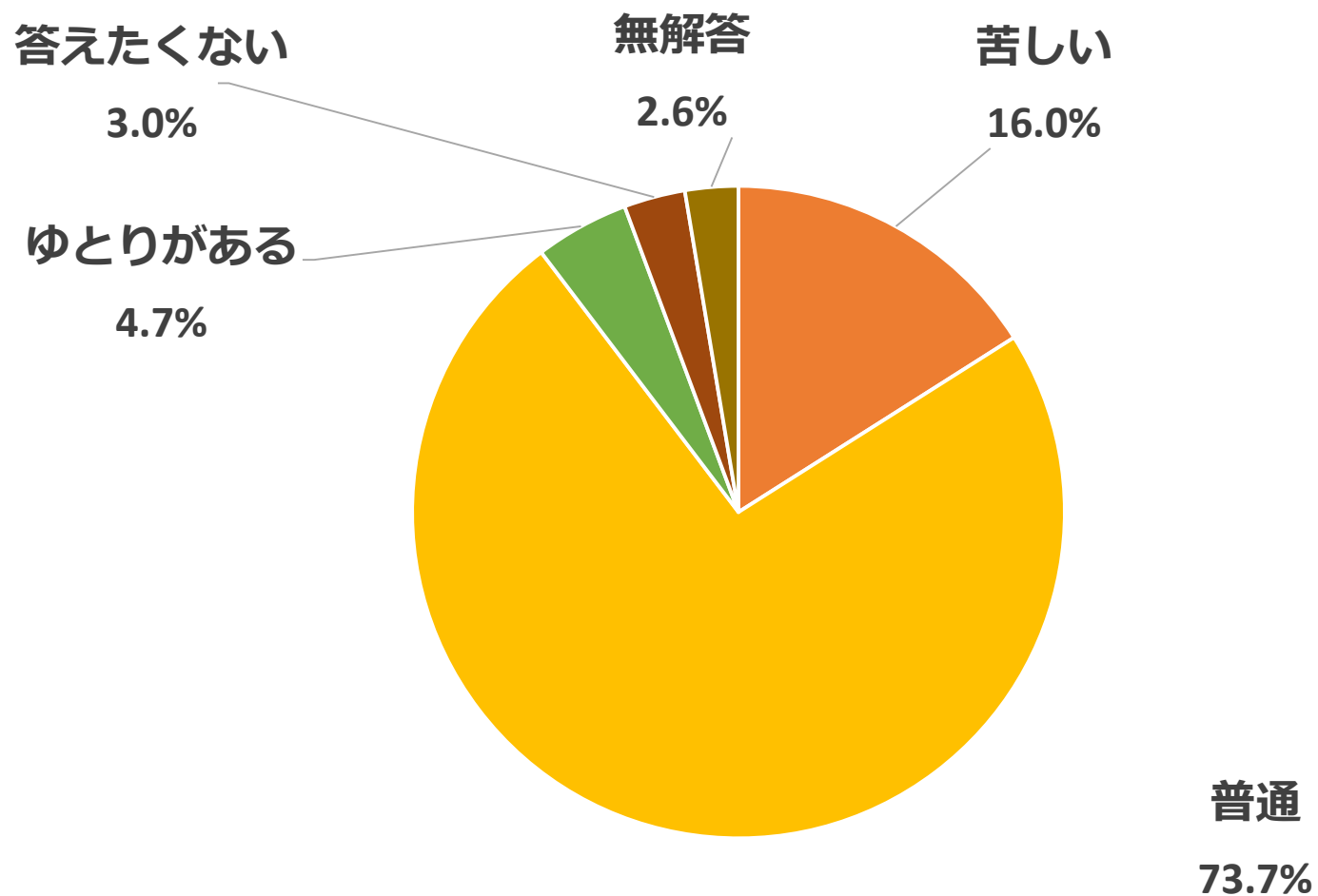
③ 公的サービスの利用を増やし、自分や分担してくれている人の負担を減らしたい

・ 公的サービス利用を増やし、自分や分担してくれている人の負担を減らしたいことについてみると（N=492）、「無解答」が36.1%で最も高く、次いで「少し感じる」が23.4%であった。



(36) 現在の生活のくらし向き

・現在の生活のくらし向き（N=987）をみると、「普通」が73.7%で最も高く、次いで「苦しい」が16.0%であった。



(37) 今後の生活の暮らし向き

・今後の生活の暮らし向き（N=987）をみると、「今と変わらない」が36.8%で最も高く、次いで「今より苦しくなる」が31.8%であった。

